

令和4年度

全国学力・学習状況調査

結果概要

交野市教育委員会



おりひめちゃん

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 実施日

令和4年4月19日(火)

(3) 調査内容

- ① 児童生徒
教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)、質問紙調査
- ② 学校
質問紙調査

(4) 調査を実施した児童・生徒数

小学校第6学年 978,111人 (交野市: 9校 662人)
中学校第3学年 928,509人 (交野市: 4校 632人)

学力調査結果

平均正答率 (%)

対全国比 = 市の平均正答率 ÷ 全国平均正答率

小学校	交野市	全国	差	対全国比
国語	61	65.6	-4.6	0.930
算数	61	63.2	-2.2	0.965
理科	58	63.3	-5.3	0.916

中学校	交野市	全国	差	対全国比
国語	69	69.0	±0.0	1.000
数学	54	51.4	+2.6	1.051
理科	48	49.3	-1.3	0.974

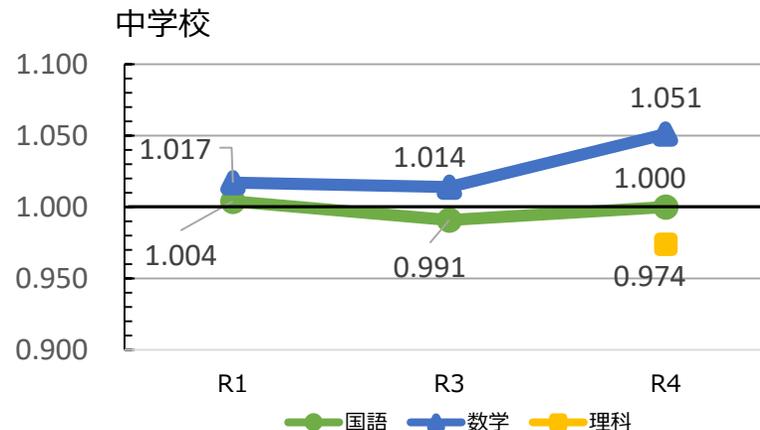
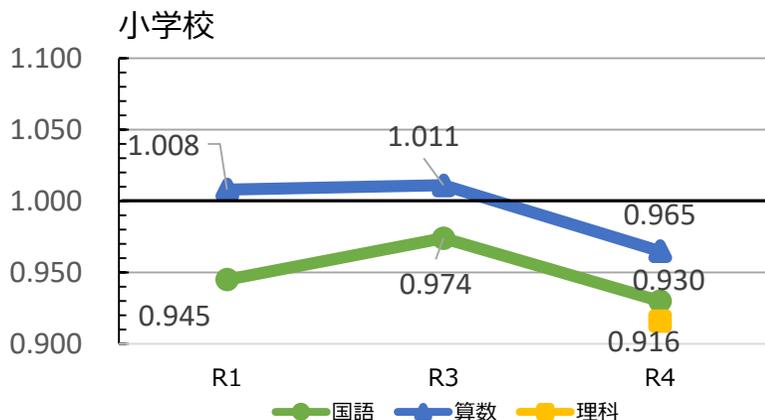
無解答率 (%)

小学校	交野市	全国	差
国語	7.2	5.7	+1.5
算数	3.9	3.5	+0.4
理科	5.1	3.6	+1.5

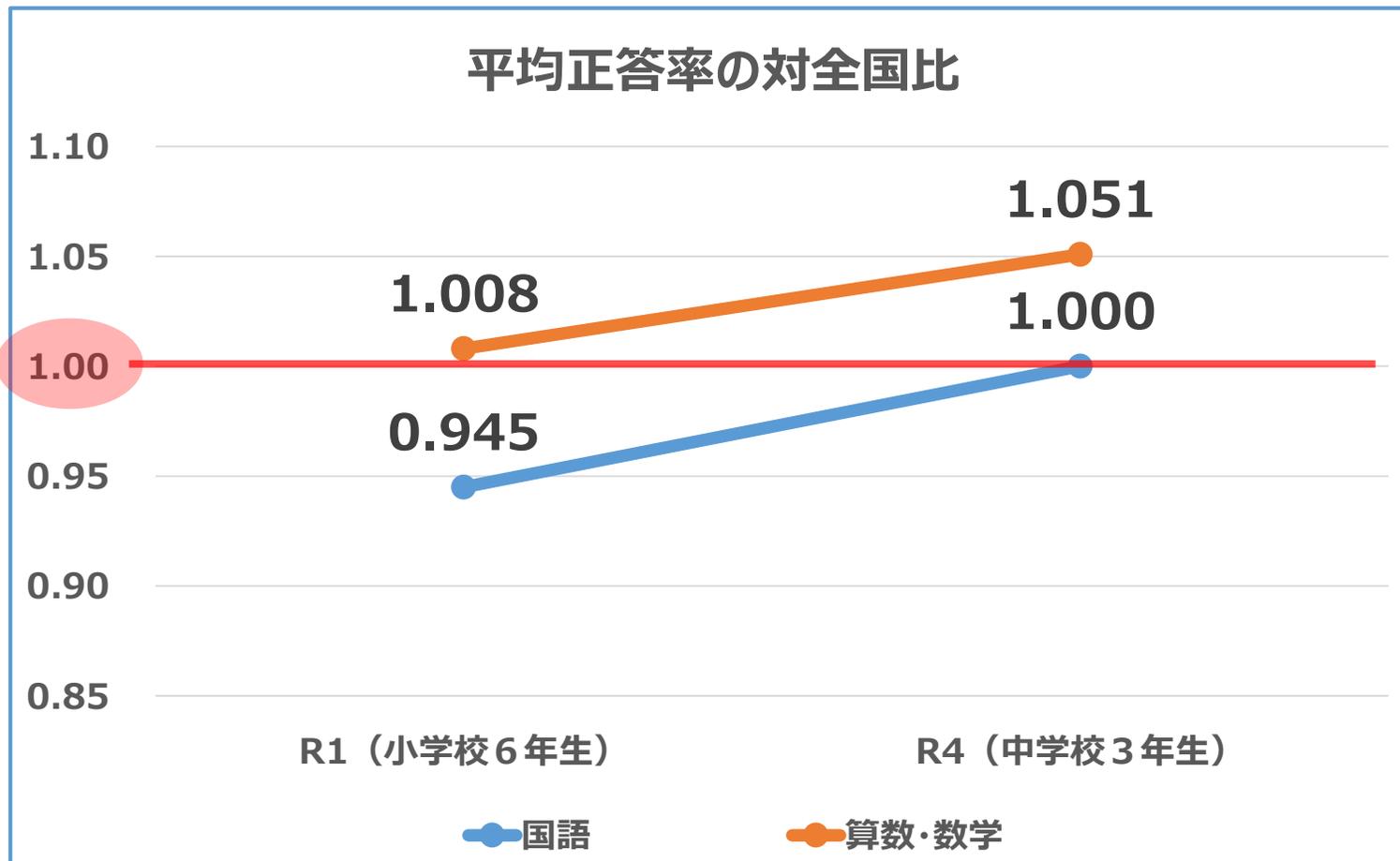
中学校	交野市	全国	差
国語	4.7	4.3	+0.4
数学	10.8	10.8	±0.0
理科	4.1	3.4	+0.7

対全国比の経年変化

全国平均正答率を1.000としたときの、市の各教科平均正答率の推移



同一集団の成績推移



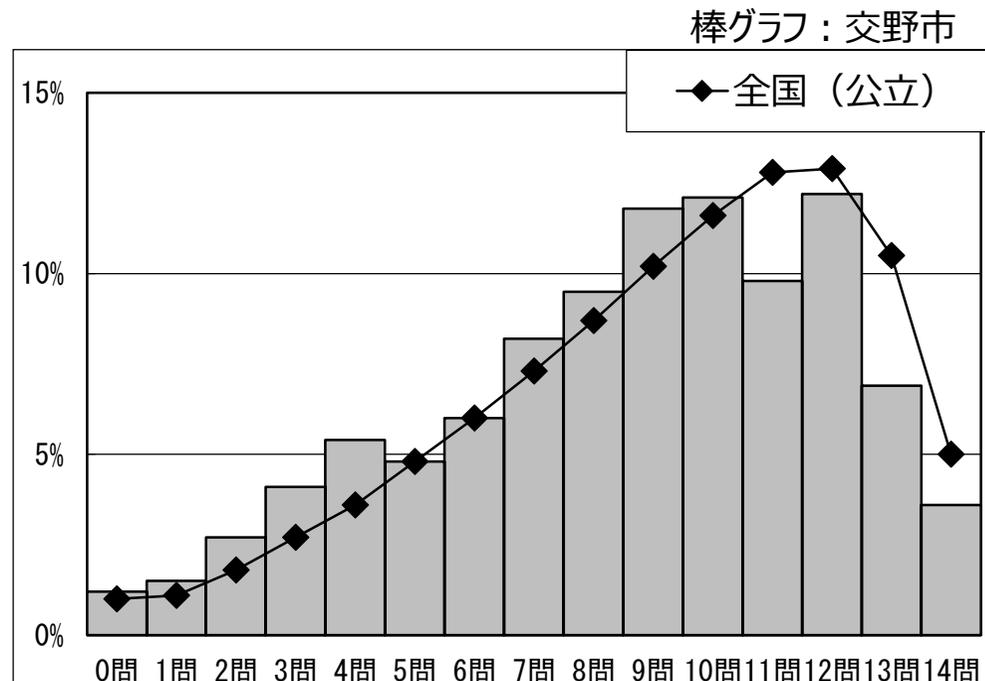
小学校・国語

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			交野市	全国	
全体		14	61	65.6	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	5	61.9	69.0
		我が国の言語文化に関する事項	1	68.6	77.9
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	2	63.7	66.2
		書くこと	2	44.6	48.5
		読むこと	4	65.6	66.6
評価の観点	知識・技能	6	63.0	70.5	
	思考・判断・表現	8	59.9	62.0	
問題形式	選択式	8	68.7	71.8	
	短答式	3	54.9	63.6	
	記述式	3	47.8	51.3	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	8.6/14	9.0	3.4
全国	9.2/14	10.0	3.3

小学校・国語

課題の見られる問題

設問 3二

言葉の特徴や使い方に関する事項【書くこと】

趣旨 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。

【伝え合いの様子の一部】（右資料）を基に、【文章2】のよさを書く問題

<条件>

- ① 【文章2】のよさについて書いている。
- ② 【文章2】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ③ 60字以上、100字以内で書いている。

（正答例）

わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。（99字）

（誤答例）

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんの話を聞き、さいばい委員会で自分が行った活動をふり返って、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを反省しました。（80字）・・・全体の**28.9%**の児童がこれに類する解答

解答類型	交野市	全国
◎ 条件①、②、③を満たしているもの	31.4	37.7
条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていない	0.8	0.7
条件①は満たしているが、条件②は満たしていない ※条件③は不問	10.3	9.9
条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ※条件③は不問	28.9	28.4
上記以外の解答	12.4	8.8
無解答	16.3	14.5

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかというところ、最初の段落の内容をより具体的に書いているから、今年がんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

（伝え合いが続く）

提示された条件を理解することや、文章を交流し自分の文章の良いところを見つけて書く活動が不十分であると考えられる。

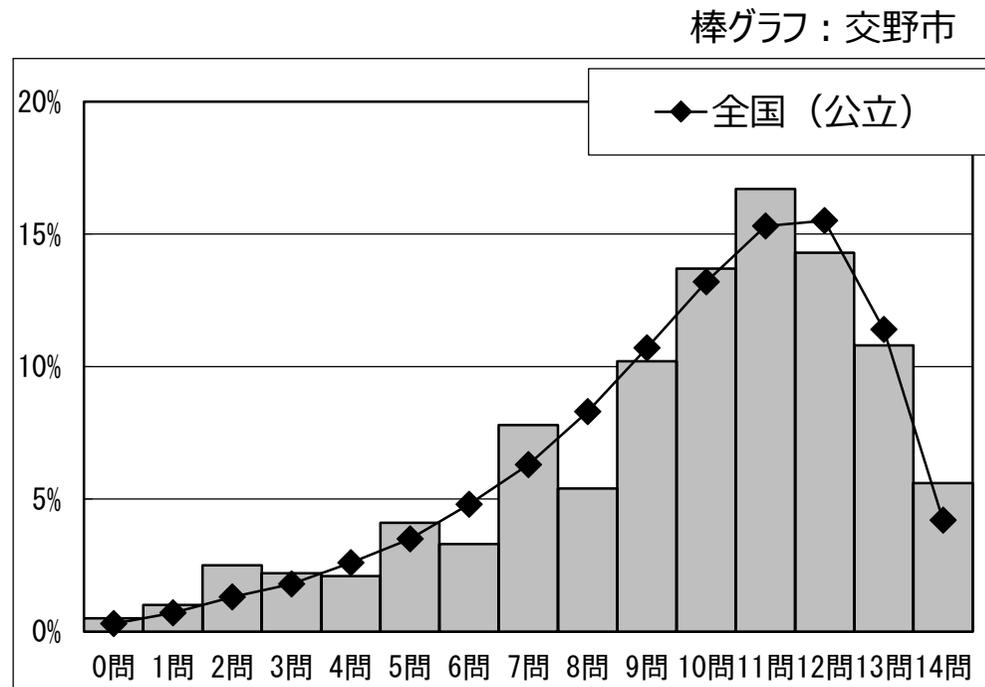
中学校・国語

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			交野市	全国	
全体		14	69	69.0	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	6	72.3	72.2
		情報の扱い方に関する事項	1	47.5	46.5
		我が国の言語文化に関する事項	3	68.8	70.2
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	63.0	63.9
		書くこと	1	47.5	46.5
		読むこと	2	67.3	67.9
評価の観点	知識・技能	10	68.8	69.0	
	思考・判断・表現	6	61.8	62.3	
問題形式	選択式	6	71.8	73.7	
	短答式	5	71.8	70.3	
	記述式	3	56.8	57.4	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	9.6/14	10.0	3.1
全国	9.7/14	10.0	2.9

中学校・国語

課題の見られる問題

設問 1三

趣旨 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。

スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く問題

【二人の会話の一部】（右資料）に線部③「**他の部分も話し方を工夫してみます。**」とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【川口さんのスピーチ】のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。

条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

(正答例)

「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。

考えた工夫とその意図を伝え合い、実際に声に出しながら交流する経験が不十分であると考えられる。

田中 川口さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてもどうでしょうか。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話をする」という部分は、伝えたい内容に関係することなので、聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大きな声で話すとういのではないのでしょうか。

川口 なるほど。③**他の部分も話し方を工夫してみます。**

解答類型	交野市	全国
◎ 条件1、2を満たしている	51.3	51.9
条件1は満たしているが、条件2は満たしていない	6.8	5.7
条件2は満たしているが、条件1は満たしていない	12.4	13.4
上記以外の解答	13.7	13.8
無解答	15.9	16.2

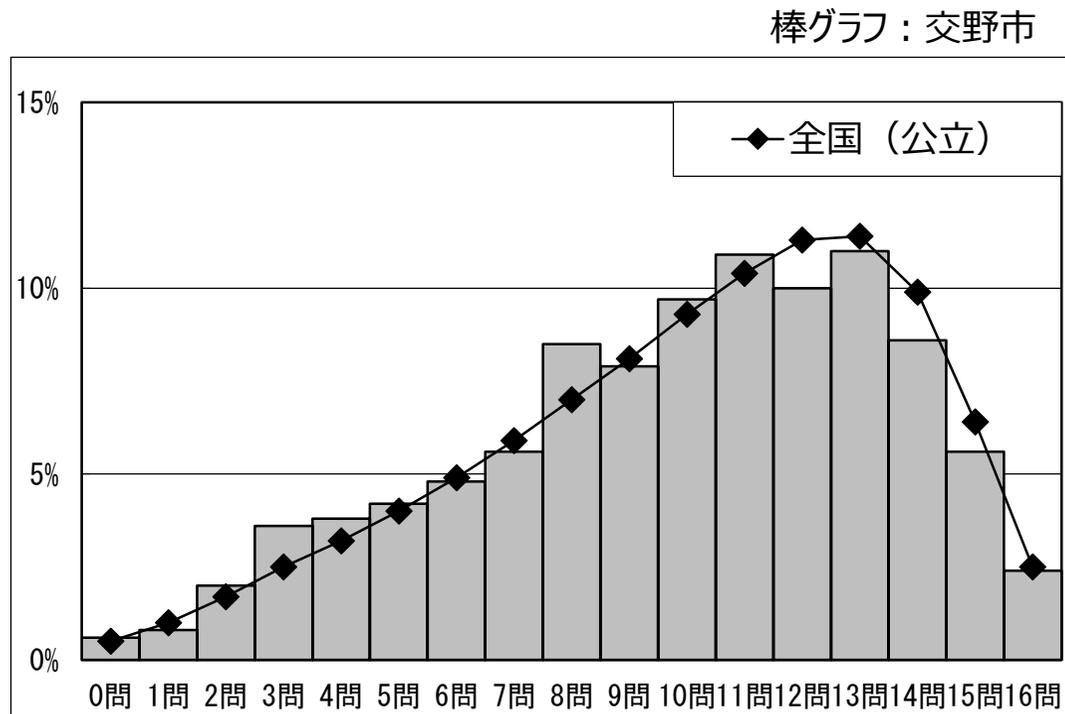
小学校・算数

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			交野市	全国
全体		16	61	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	67.5	69.8
	B 図形	4	61.3	64.0
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	51.8	51.3
	D データの活用	3	65.9	68.7
評価の観点	知識・技能	9	66.9	68.2
	思考・判断・表現	7	54.3	56.7
問題形式	選択式	6	50.5	51.8
	短答式	6	75.4	76.5
	記述式	4	56.7	60.2

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	9.8/16	10.0	3.7
全国	10.1/16	11.0	3.6

小学校・算数

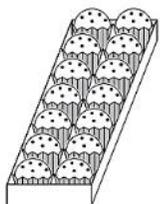
課題の見られる問題

設問 1 (3)

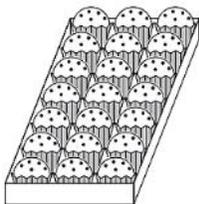
【A 数と計算】

趣旨 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。

カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く問題



Aセット (14個入り)
1050円



Bセット (21個入り)
1470円

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
 Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
 カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



あいり

Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうですか。

【ゆうとさんの説明】



ゆうと

1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、 1050 を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができます。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。

(正答の条件) 次の①、②の全てを書いている。

- ① カップケーキが3列あることを表す言葉と数
- ② 1470円を3等分することを表す言葉と数

(正答例)

1列のカップケーキが7個ずつ3列あります。3列の値段が1470円なので、1470を3等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができます。

解答類型	交野市	全国
◎ ①、②の全てを書いている	70.0	76.0
①を書いている	10.4	8.4
②を書いている	1.7	2.6
上記以外の解答	11.5	7.7
無解答	6.4	5.2

カップケーキ7個分の値段が1列分の値段であることと、Bセットにはカップケーキが3列あることに着目できておらず、目的に合った数の処理の仕方に課題があると考えられる。

小学校・算数

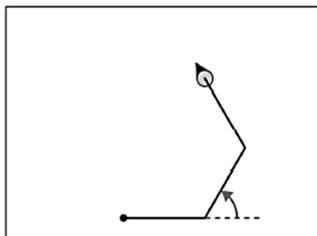
課題の見られる問題

設問 4 (1)

【B 図形】

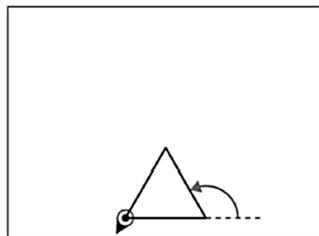
趣旨 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。

示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す問題



実際の結果
つくったプログラム

- ① 5 cm の直線を引く。
- ↓
- ② 左に 60° 回転する。
- ↓
- ③ 5 cm の直線を引く。
- ↓
- ④ 左に 60° 回転する。
- ↓
- ⑤ 5 cm の直線を引く。



かこうとした正三角形

ア

イ

はなこ

5 cm の直線を引く。

左に 60° 回転する。

2種類の命令のうち、どちらかの命令を直すとかこうとした正三角形ができますね。

かこうとした正三角形をかきするには、ア、イどちらの命令を直すとよいですか。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

(正答の条件)

- 記号をイと選び、次の①、②の全てを書いている。
- ① 回転する向きである左を表す言葉
 - ② 回転する角の大きさである120°を表す数や言葉

解答類型		交野市	全国	
イと解答	1	①、②の全てを書いている	42.7	48.8
	2	①について右と書き、②を書いている	0.3	0.3
	3	②を書いている	1.8	20.
	4	①を書き、②について60°と書いている	6.8	7.1
	5	①について右と書き、②について60°と書いている	12.4	11.1
	6	類型4、5以外で、②について60°と書いている	0.6	0.6
	7	類型1～6以外で、角の大きさについて書いている	9.7	8.2
	8	長さについて書いている	0.9	0.9
	9	類型1～8以外の解答、無解答	6.2	5.8
アと解答	10	①、②の全てを書いている	0.6	0.6
	11	②を書いている	0.0	0.1
	12	類型10、11以外で、角の大きさについて書いている	2.9	2.0
	13	長さについて書いている	2.6	2.5
	14	類型10～13以外の解答、無解答	2.4	2.3
上記以外の解答		5.0	3.8	
無解答		5.1	3.8	

正三角形の一つの角の大きさである60°にのみ着目している。また、回転する向きを理解することに課題があると考えられる。

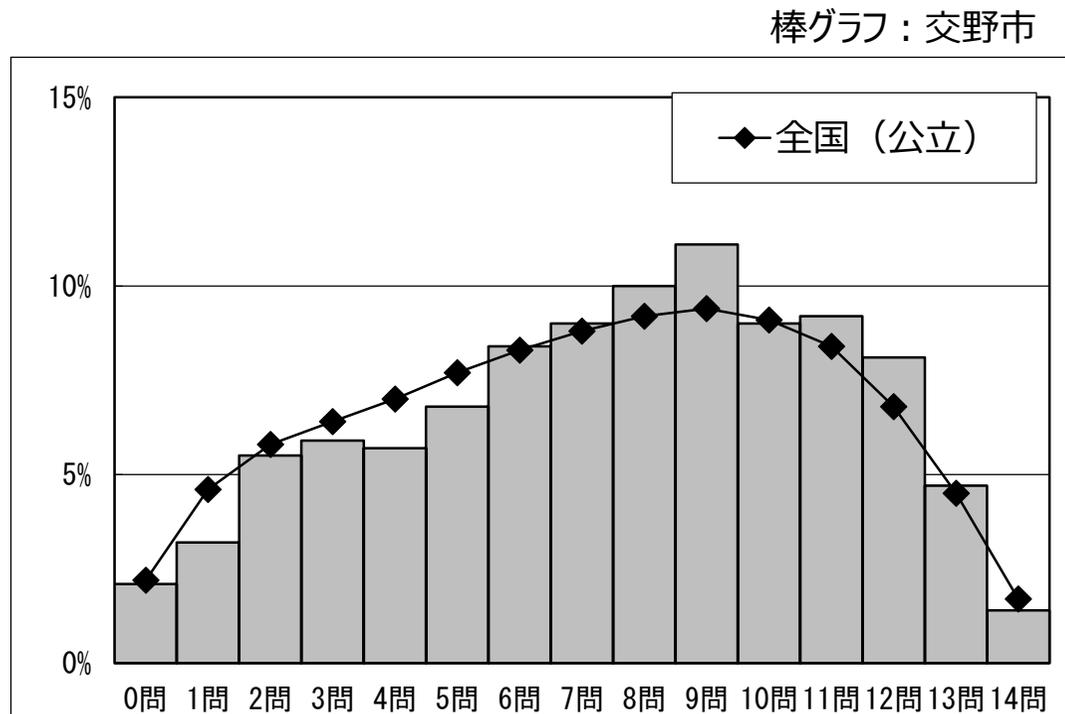
中学校・数学

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			交野市	全国
全体		14	54	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	60.5	57.4
	B 図形	3	47.7	43.6
	C 関数	3	46.3	43.6
	D データの活用	3	55.4	57.1
評価の観点	知識・技能	9	62.7	59.9
	思考・判断・表現	5	37.4	36.2
問題形式	選択式	4	53.3	52.6
	短答式	5	70.2	65.7
	記述式	5	37.4	36.2

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	7.5/14	8.0	3.5
全国	7.2/14	7.0	3.6

中学校・数学

課題の見られる問題

設問 6 (3)

【A 数と式】

趣旨 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。

ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する問題

予想2

差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

2 + 6と6 + 2は同じとみていいから、
(小さい方の偶数) + (大きい方の偶数)
について説明すればいいね。



どのような2つの偶数のとき、その2つの偶数の和が4の倍数になりますか。予想2のように「○○は、◇◇になる。」という形で書きなさい。

(正答の条件)

「○○は、◇◇になる。」という形で、次の(a)、(c)又は(b)、(c)について記述しているもの。

- (a) ○○が、「差が4の倍数である2つの偶数の和」である。
- (b) ○○が、「差が8である2つの偶数の和」である。
- (c) ◇◇が、「4の倍数」である。

(正答例)

- ・ 差が4の倍数である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- ・ 差が8である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- ・ 差が12である2つの偶数の和は、4の倍数になる。
- ・ 2つの数がどちらも4の倍数である2つの偶数の和は、4の倍数になる。

解答類型	交野市	全国
◎ 正答の条件を満たしている	38.4	37.6
(a)のみを記述しているもの。((a)についての記述が十分でないものを含む。)	0.0	0.0
(b)のみを記述しているもの。((b)についての記述が十分でないものを含む。)	0.5	0.5
差が8以外の具体的な4の倍数になる2つの偶数の和のみを記述しているもの。(差が8以外の具体的な4の倍数の和についての記述が十分でないものを含む。)	0.0	0.0
(c)についての記述がないもの。(和が4の倍数になる2つの偶数についての記述が十分でないものを含む。)	0.2	0.0
上記以外の解答	34.0	35.6
無解答	26.9	26.2

出題の意図を正確に捉え、結論が成り立つための前提となる数を見出し、それを数学的に表現すること（「前提(○○)は、結論(◇◇)になる。」）に課題があると考えられる。

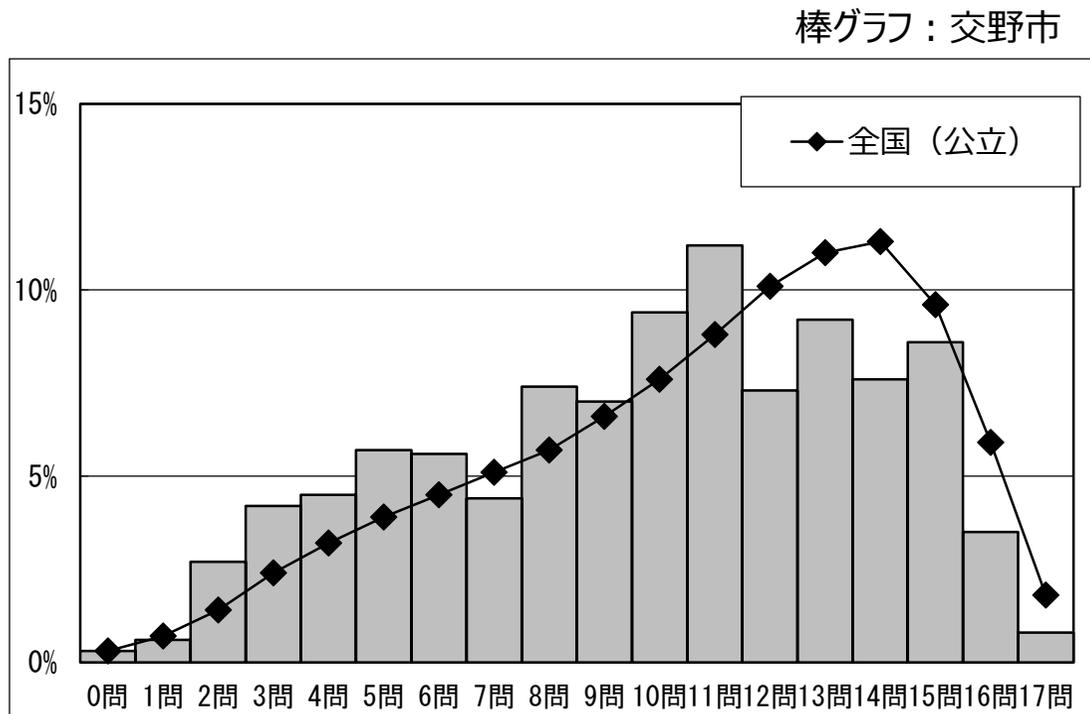
小学校・理科

分類・区分別集計結果

分類	区分		対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				交野市	全国
全体			17	58	63.3
学習指導要領の領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	45.7	51.6
		「粒子」を柱とする領域	5	54.1	60.4
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	69.8	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	57.9	64.6
評価の観点	知識・技能		6	57.0	62.5
	思考・判断・表現		11	58.0	63.7
問題形式	選択式		11	62.1	66.8
	短答式		3	57.8	66.2
	記述式		3	41.0	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	9.8/17	10.0	3.9
全国	10.8/17	11.0	3.8

小学校・理科

課題の見られる問題

設問 1 (4)

【生命】

趣旨 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。

資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ問題

		〈こん虫の育ち方と主な食べ物〉	
		育ち方	
主な食べ物	植物	1 さなぎになる モンシロチョウ  幼虫：キャベツの葉など 成虫：花のみつなど	2 さなぎにならない ショウリョウバッタ  幼虫：ススキの葉など 成虫：ススキの葉など
	動物	3 ゲンゴロウ  幼虫：イトミミズなど 成虫：イトミミズなど	4 シオカラトンボ  幼虫：イトミミズなど 成虫：ハエなど

カブトムシは、どこに加えればよいですか。
 〈資料〉をもとに、表の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

〈資料〉				
カブトムシの育ち方				
主な食べ物	食べない	落ち葉など	食べない	木のしる(樹液)など

解答類型	交野市	全国
◎ 1 と解答している	67.9	76.1
2 と解答している	10.6	9.1
3 と解答している	13.9	9.7
4 と解答している	6.4	4.4
上記以外の解答	0.2	0.1
無解答	1.1	0.7

カブトムシの〈資料〉から育ち方と主な食べ物の2つの情報を正確に読み取り、二次元表の複数の情報と比較し分析することに課題があると考えられる。

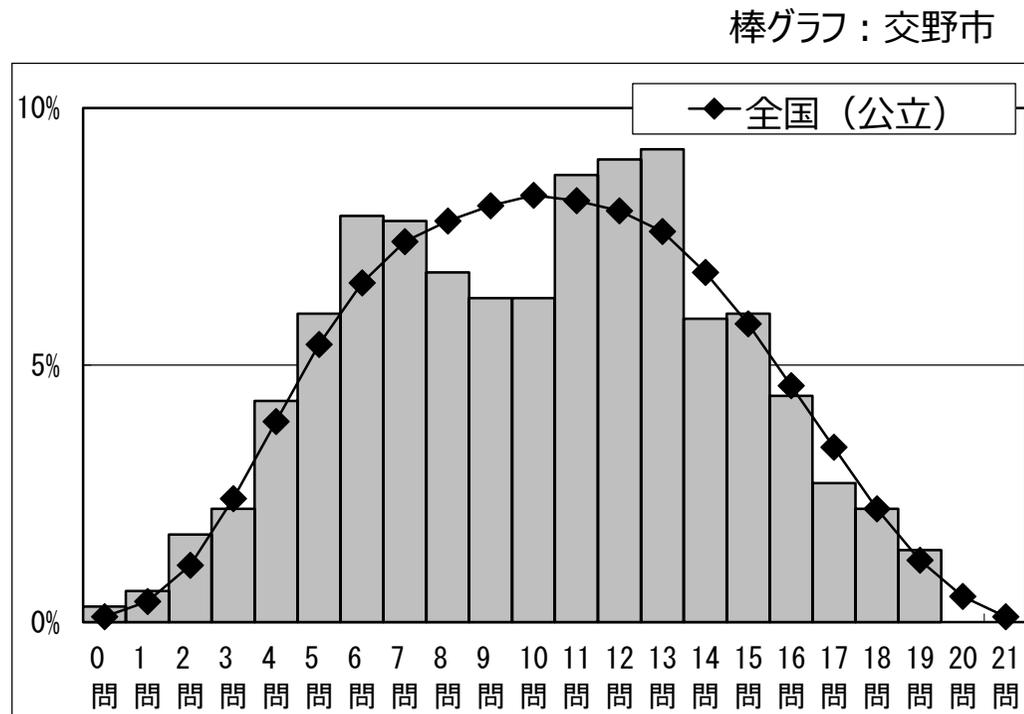
中学校・理科

分類・区分別集計結果

分類	区分		対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
				交野市	全国
全体			21	48	49.3
学習指導要領の領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	6	40.6	41.9
		「粒子」を柱とする領域	5	50.1	50.9
	B区分	「生命」を柱とする領域	5	56.1	57.9
		「地球」を柱とする領域	6	43.7	44.3
評価の観点	知識・技能		7	46.0	46.1
	思考・判断・表現		14	49.5	51.0
問題形式	選択式		15	49.2	49.6
	短答式		1	22.2	24.8
	記述式		5	51.1	53.5

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



	平均正答数	中央値	標準偏差
交野市	10.1/21	10.0	4.2
全国	10.4/21	10.0	4.1

中学校・理科

課題の見られる問題

設問 8 (2)

【「生命」を柱とする領域】

趣旨 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる。

予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する問題

レポートの続きの一部

【調べたこと】
アリは、腹部の先から「においの物質」を出し、地面に付けながら歩く。

【課題2】
アリは、嗅覚による情報をもとに行列をつくるか。

【実験2】

- アリをつぶさないように2枚の透明な板で行列を分断する。
- 操作Aと操作Bを行った後のアリの行動を比較する。

操作A

透明な板

地面を手でこすった後、板を取る

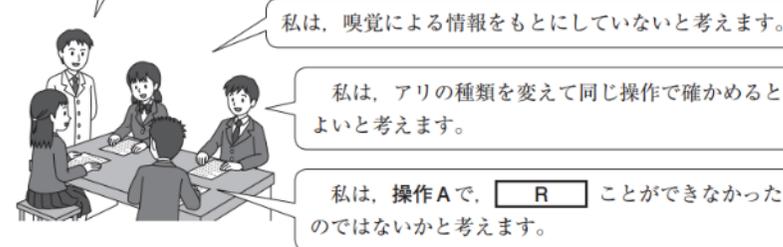
操作B

何もせずに板を取る

【結果の予想】
嗅覚による情報をもとにしていれば、操作Aは行列をつくらず、操作Bは行列をつくるだろう。

予想と異なる結果が出る場合について考える場面

もし、【結果の予想】と異なり、操作Aも操作Bも行列をつくる結果になった場合は、どのように考えればよいですか。



(2) R に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

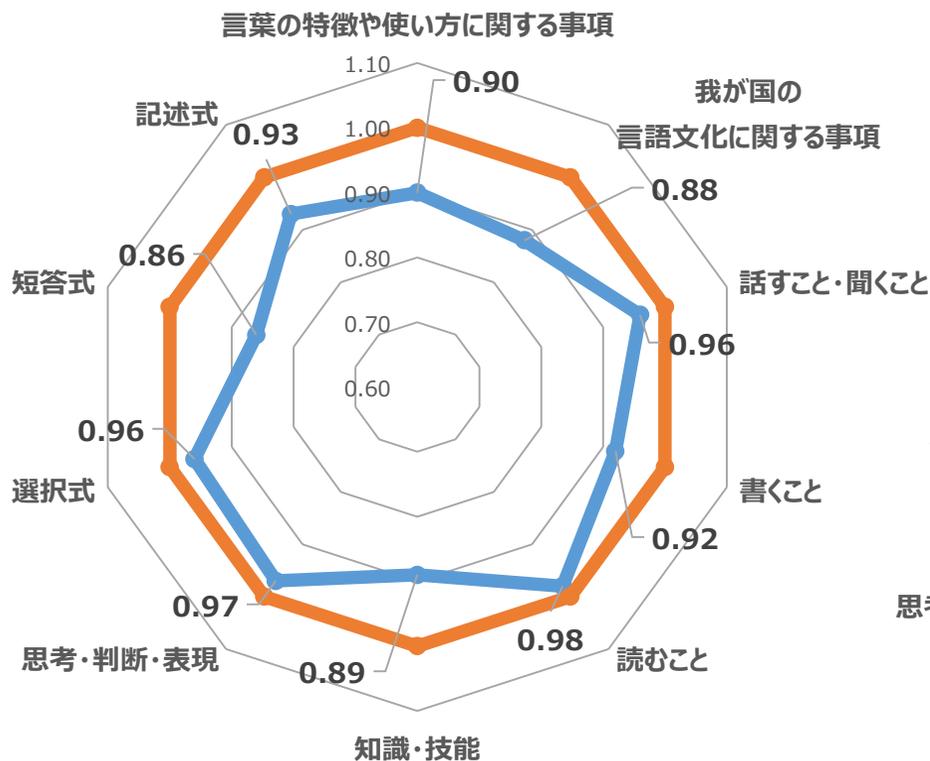
解答類型	交野市	全国
◎条件の制御が不十分であることについて解答している	48.5	51.9
◎実験の操作が不十分であることについて解答している	2.9	2.9
○同じ操作を繰り返すことについて記述している	0.3	0.3
他の条件や、条件の制御と関係のない操作について解答している	1.1	1.0
上記以外の解答	30.1	29.1
無解答	17.1	14.9

課題を解決するまでの、探究の過程の見通しをもつことに課題があると考えられる。

学習指導要領の内容及び問題形式の状況

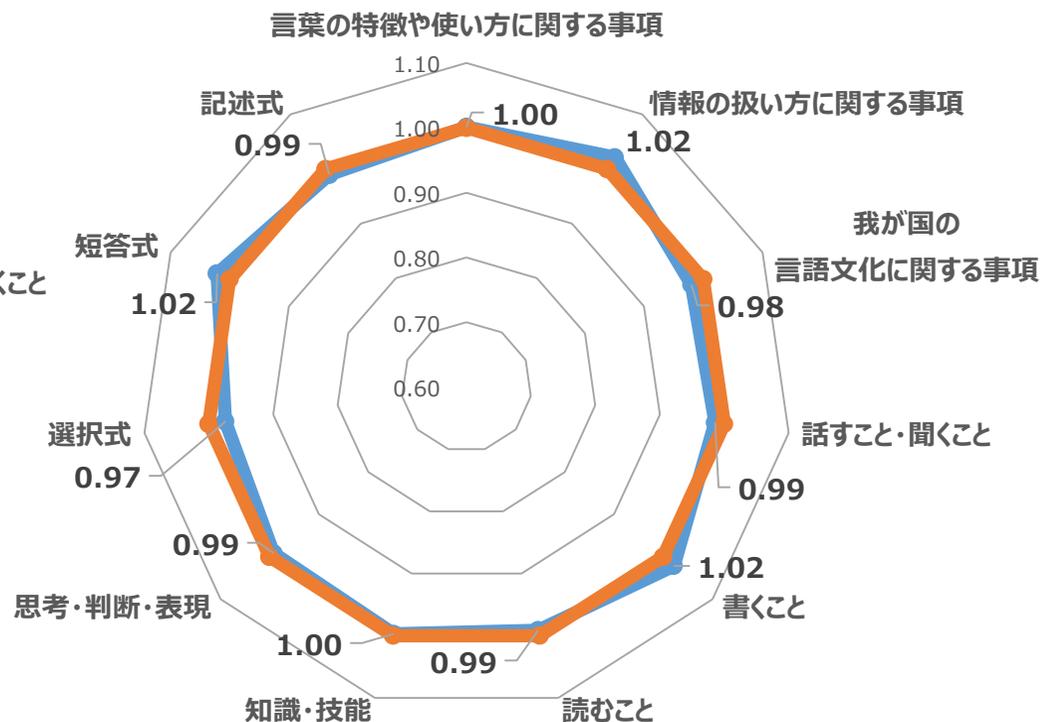
小学校 国語

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



中学校 国語

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）

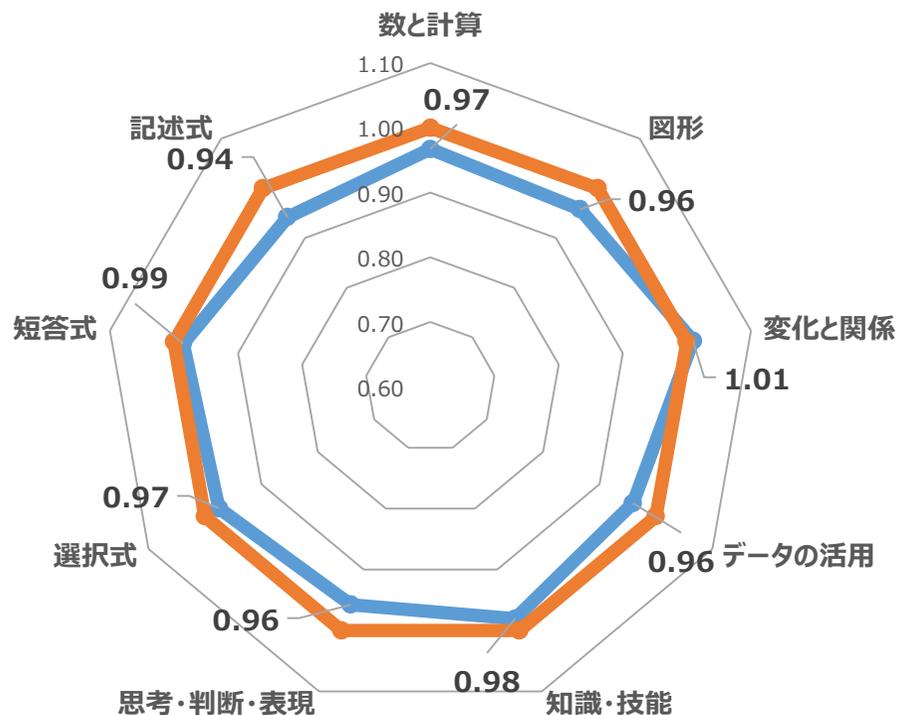


・ 小学校では、全ての内容及び問題形式において、全国平均を下回る結果となった。
 ・ 中学校では、全国平均とほぼ同様の結果となった。

学習指導要領の領域及び問題形式の状況

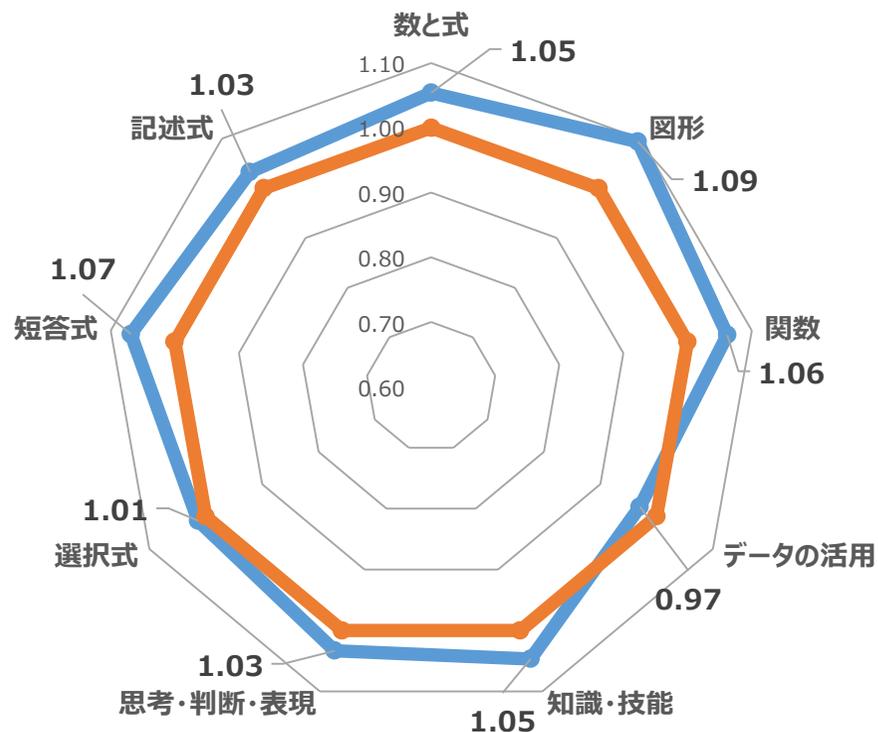
小学校 算数

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



中学校 数学

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）

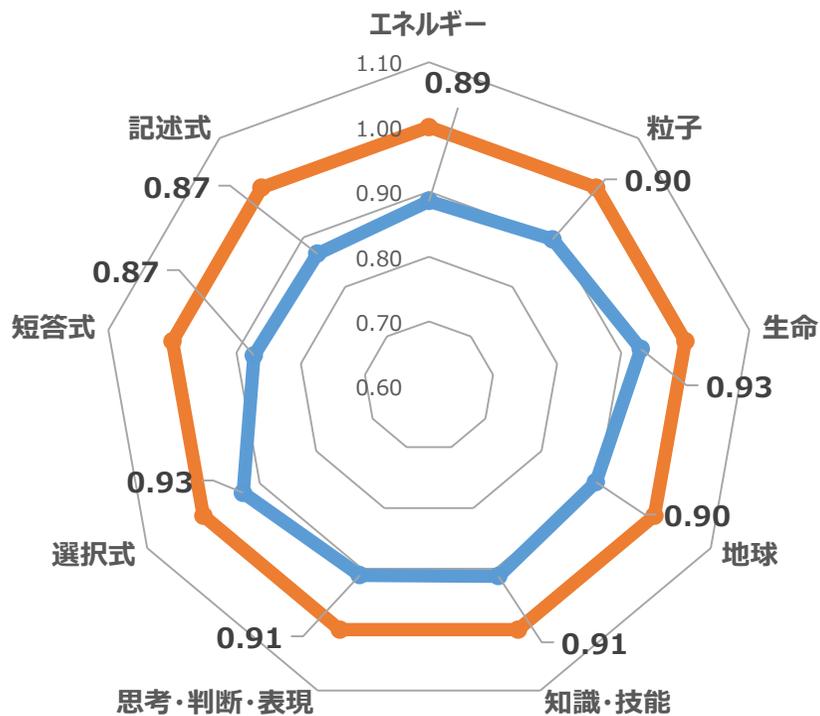


- ・ 小学校では「変化と関係」を除く全ての項目で全国平均を下回った。
- ・ 中学校では「データの活用」を除く全ての項目で全国平均を上回った。

学習指導要領の領域及び問題形式の状況

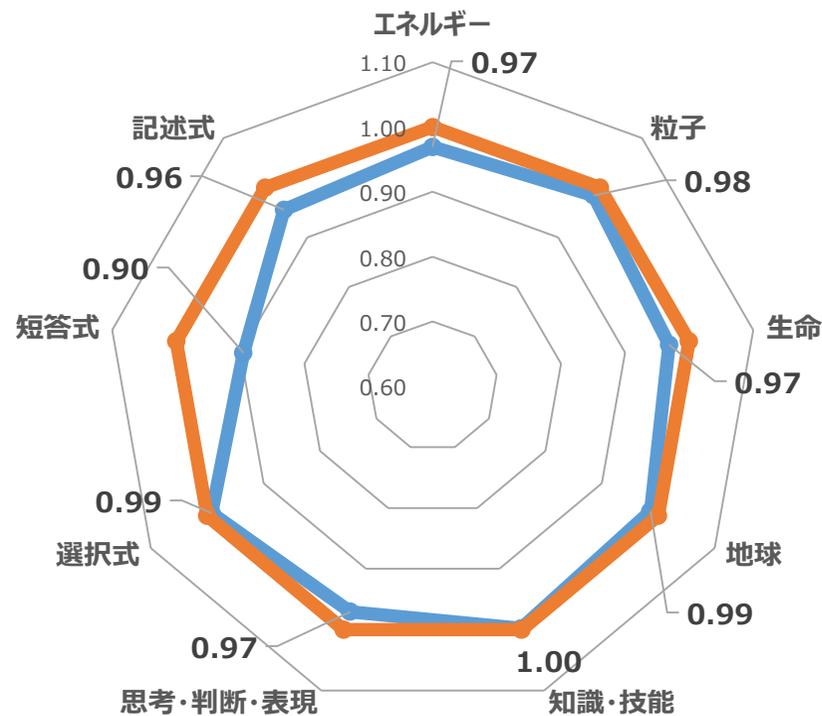
小学校 理科

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



中学校 理科

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



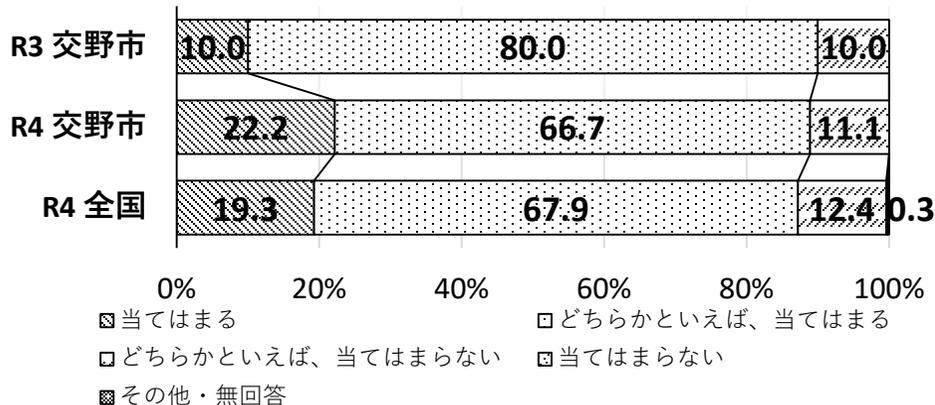
- ・ 小学校では、全ての領域及び問題形式で全国平均を下回った。
- ・ 中学校では「知識・技能」を除く全ての項目で全国平均を下回った。

質問紙調査結果

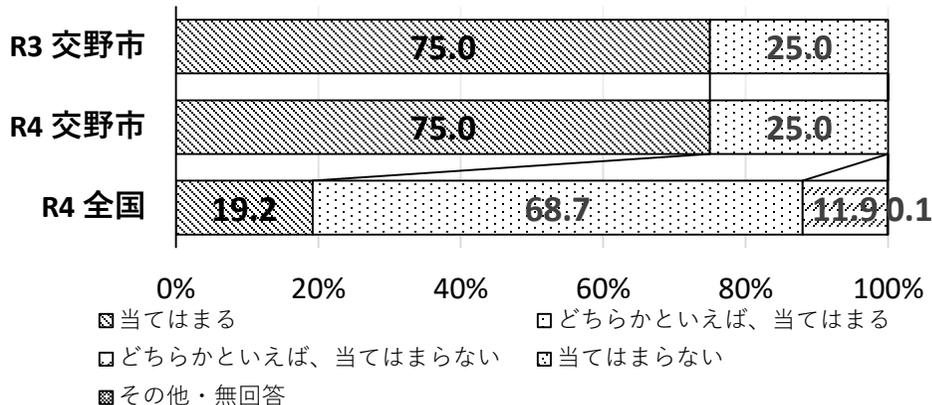
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取り組み状況①

【学校質問紙】児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

小学校

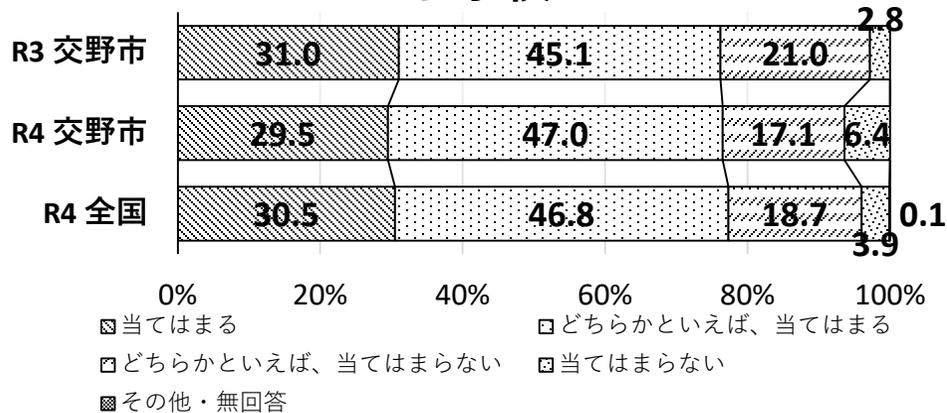


中学校

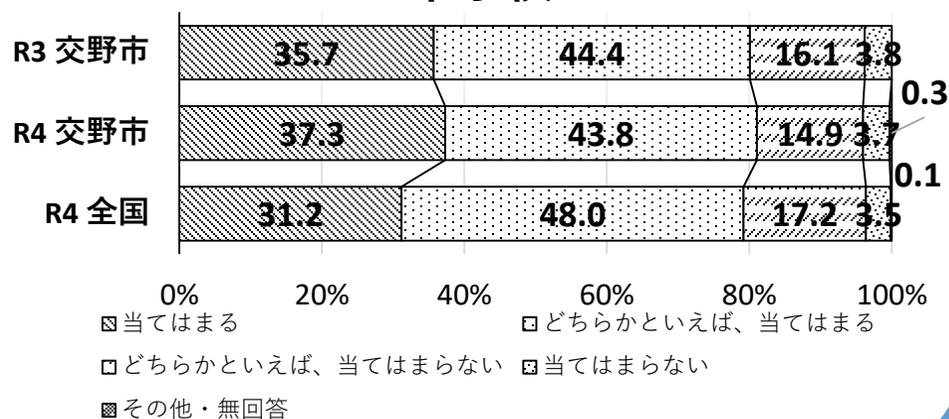


【児童生徒質問紙】授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

小学校



中学校

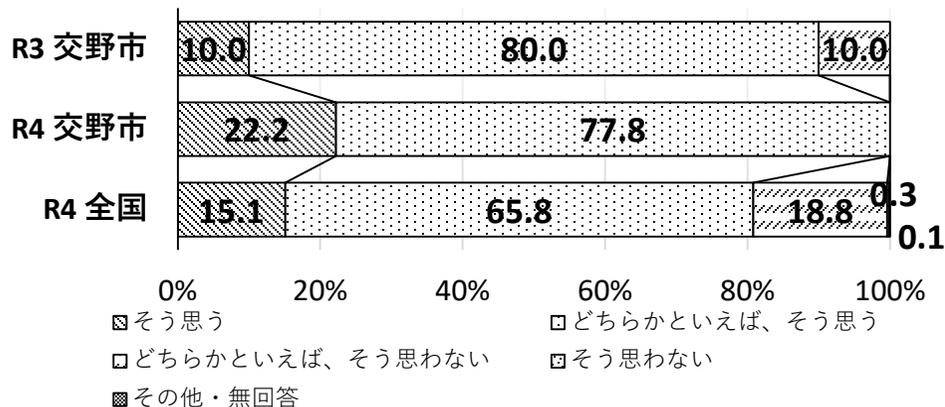


質問紙調査結果

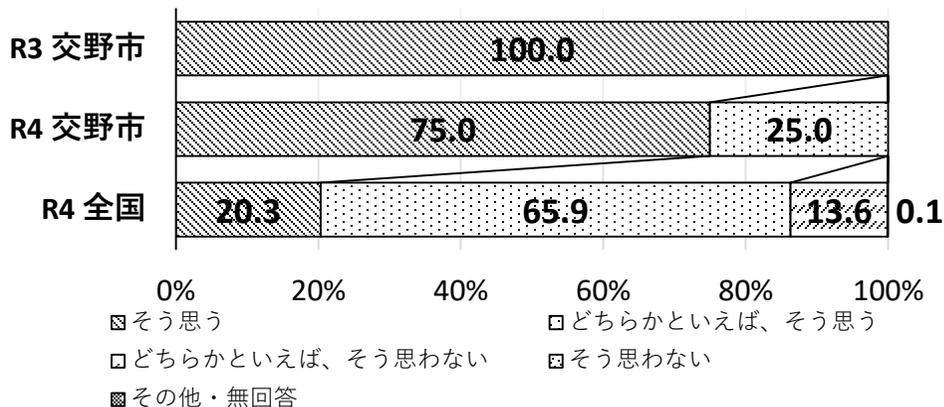
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組み状況②

【学校質問紙】児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

小学校

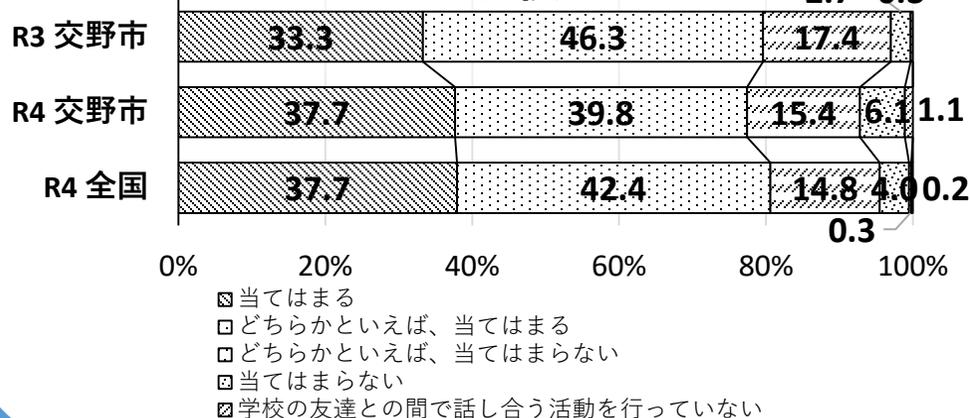


中学校

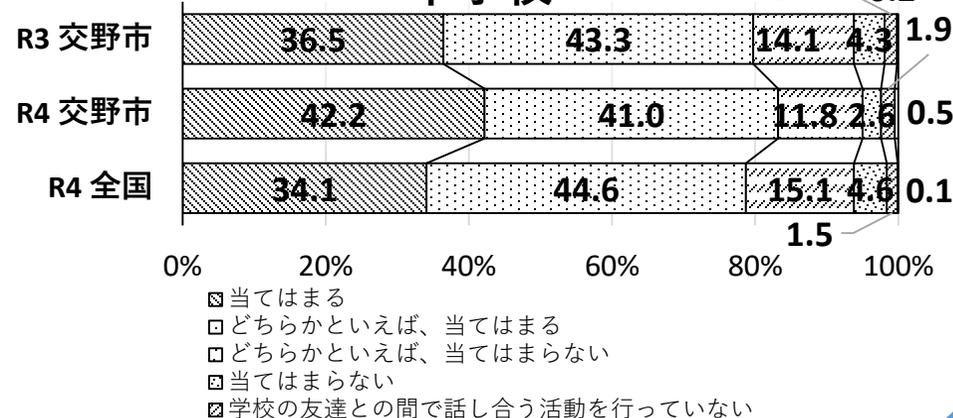


【児童生徒質問紙】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

小学校



中学校

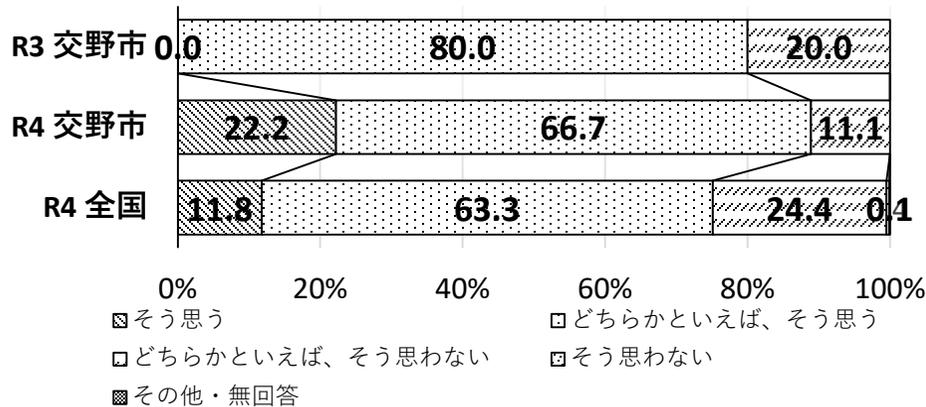


質問紙調査結果

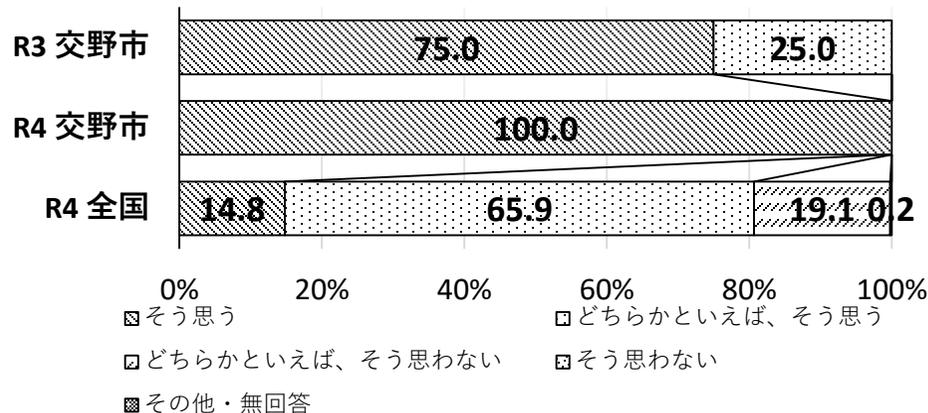
言語活用力に関する授業改善の取組み状況

【学校質問紙】児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。

小学校

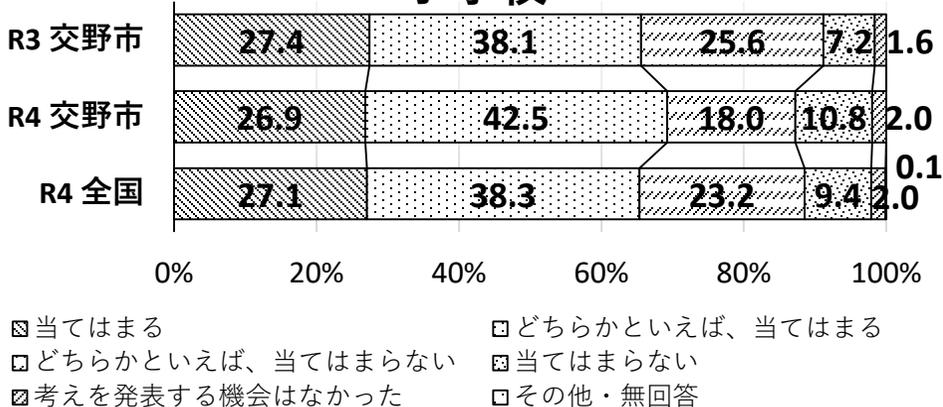


中学校

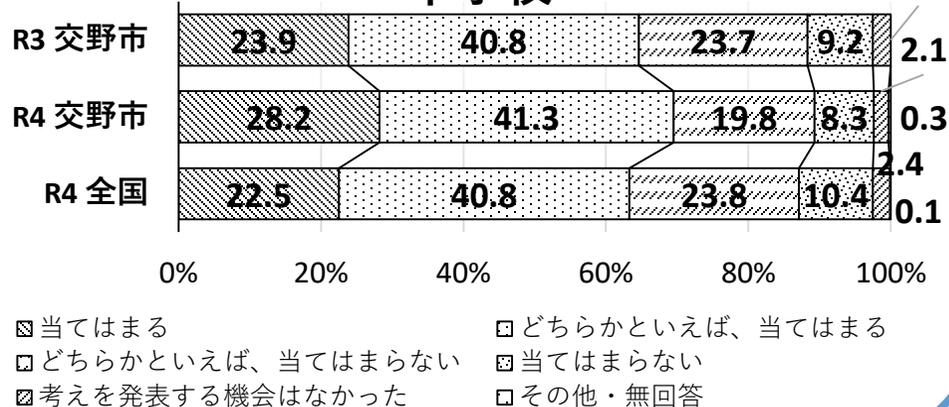


【児童生徒質問紙】授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

小学校



中学校

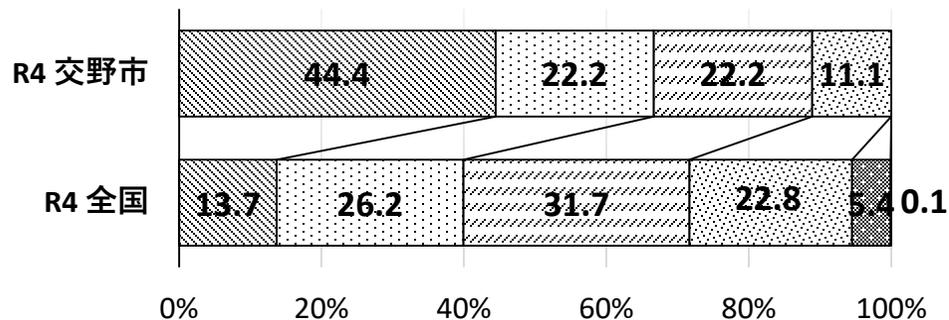


質問紙調査結果

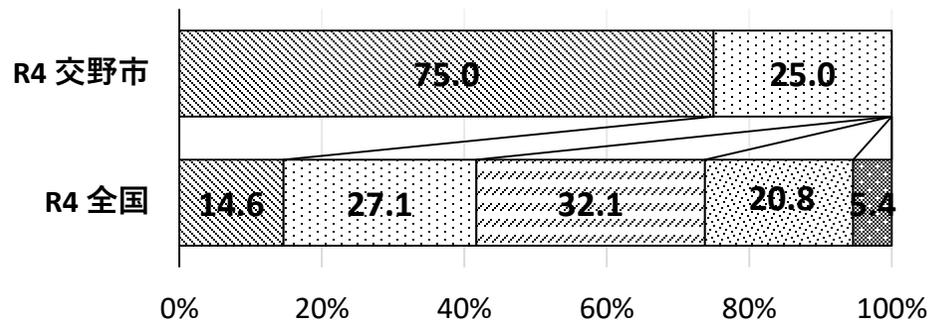
ICTを活用した学習状況

【学校質問紙】調査対象学年の児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか。(新規)

小学校



中学校

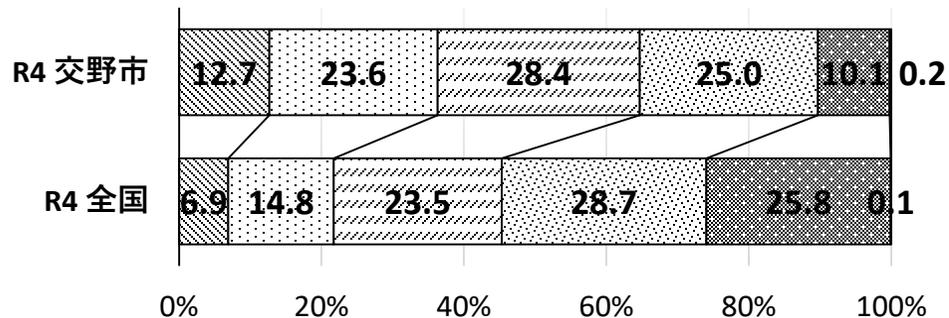


□ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 ■月1回未満 □その他・無回答

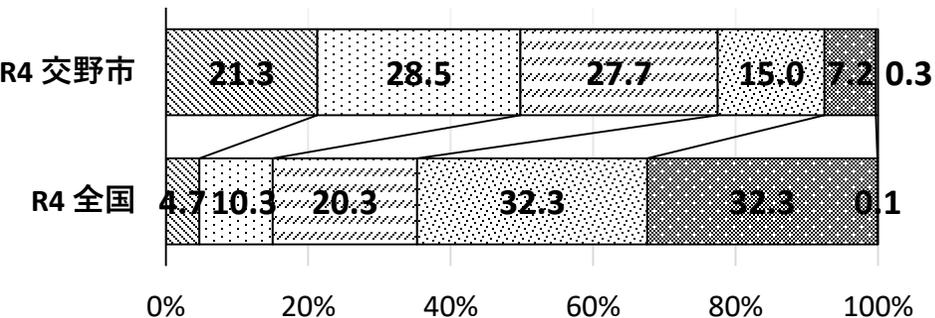
□ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 ■月1回未満 □その他・無回答

【児童生徒質問紙】学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか。(新規)

小学校



中学校



□ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 ■月1回未満 □その他・無回答

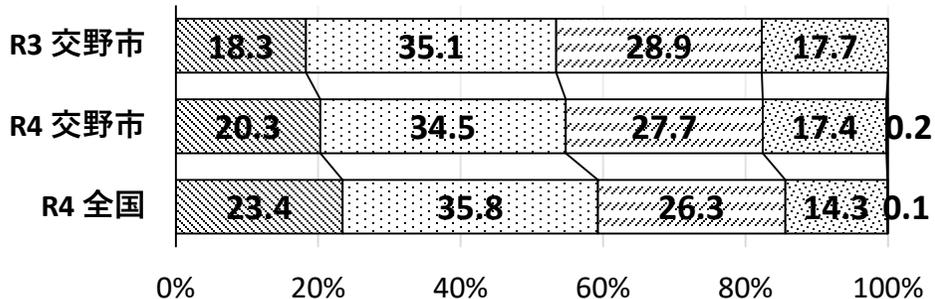
□ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 ■月1回未満 □その他・無回答

質問紙調査結果

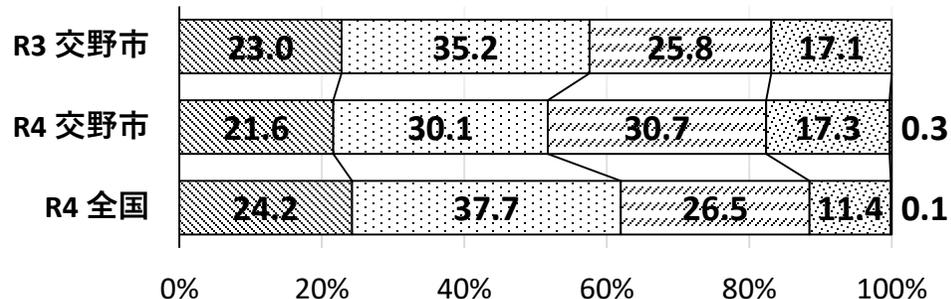
国語に関する興味・関心等

【児童生徒質問紙】国語の勉強は好きですか。

小学校



中学校

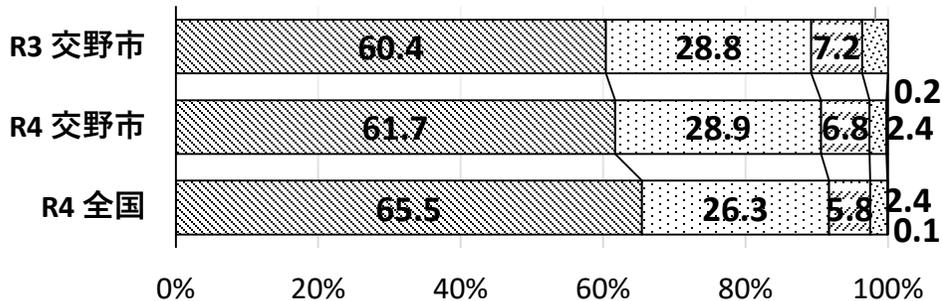


- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ 当てはまらない
- その他・無回答

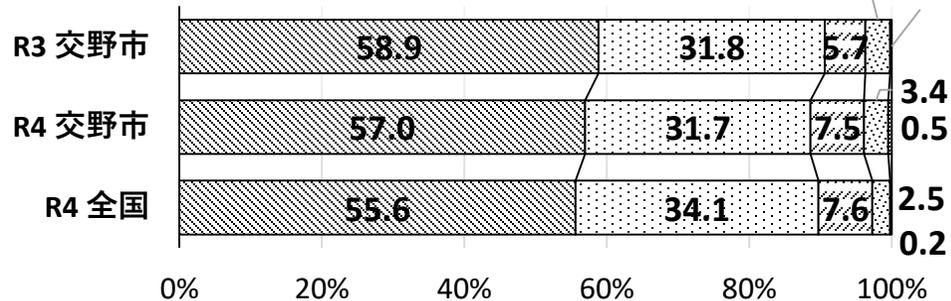
- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ 当てはまらない
- その他・無回答

【児童生徒質問紙】国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

小学校



中学校



- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ 当てはまらない
- その他・無回答

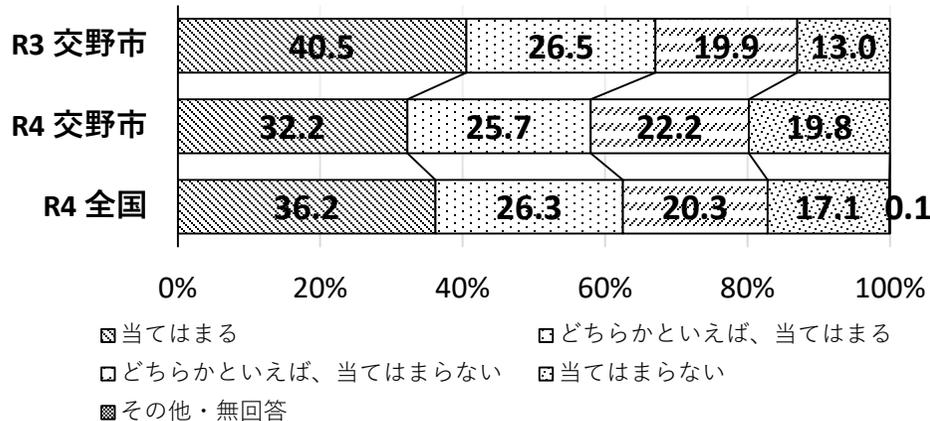
- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ 当てはまらない
- その他・無回答

質問紙調査結果

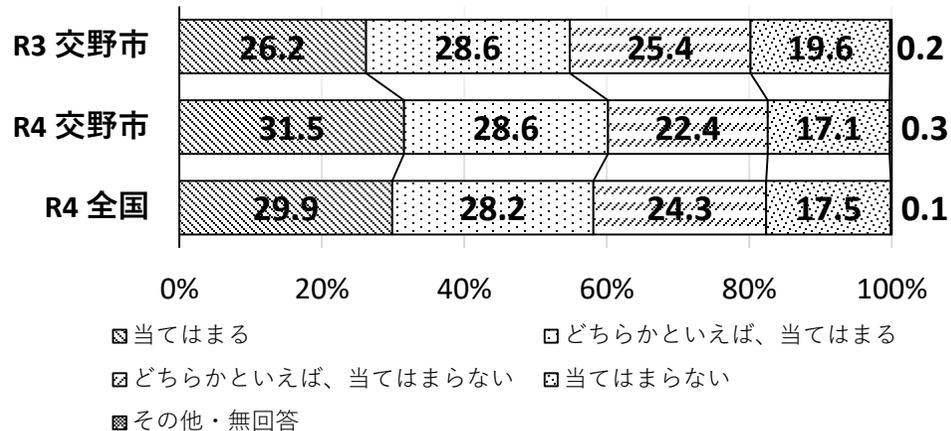
算数・数学に関する興味・関心等

【児童生徒質問紙】算数・数学の勉強は好きですか。

小学校

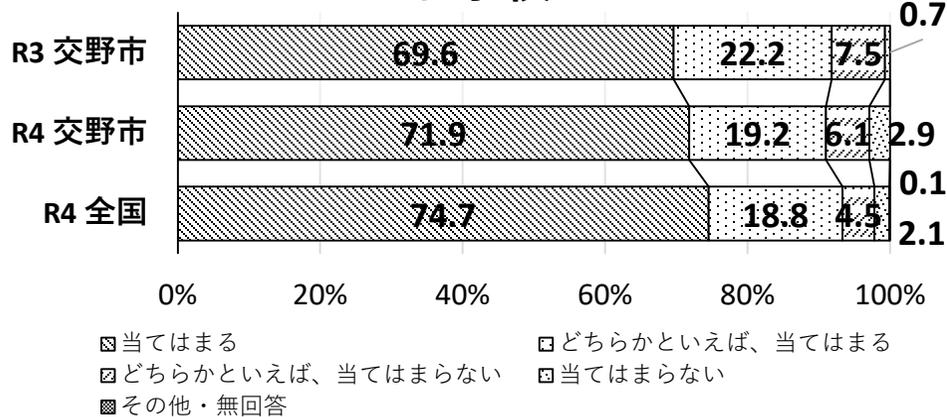


中学校

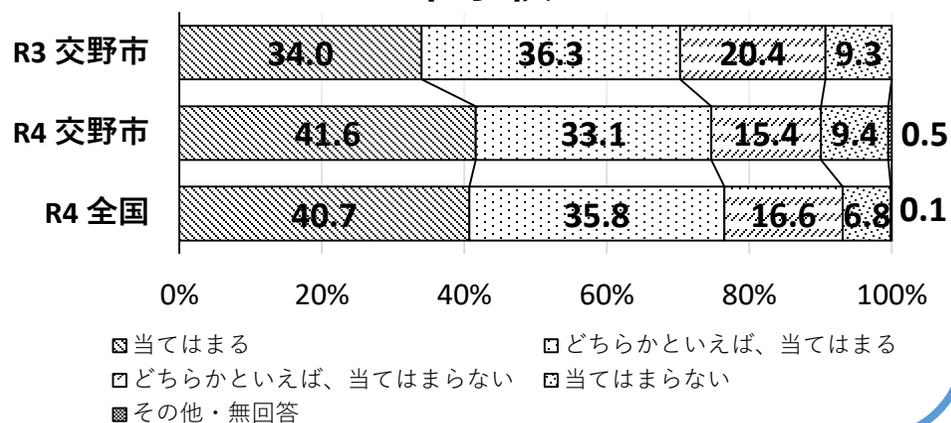


【児童生徒質問紙】算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

小学校



中学校

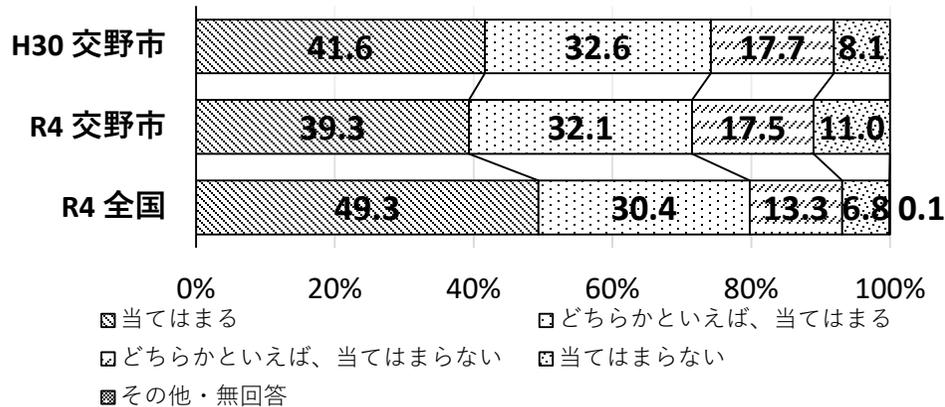


質問紙調査結果

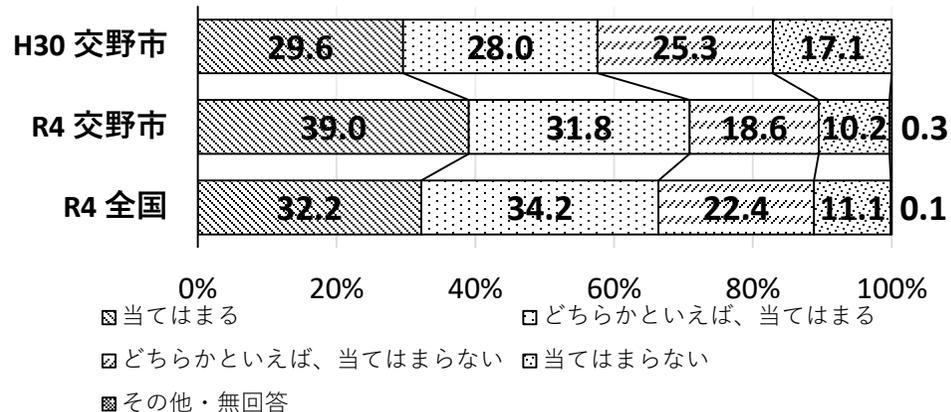
理科に関する興味・関心等

【児童生徒質問紙】理科の勉強は好きですか。

小学校

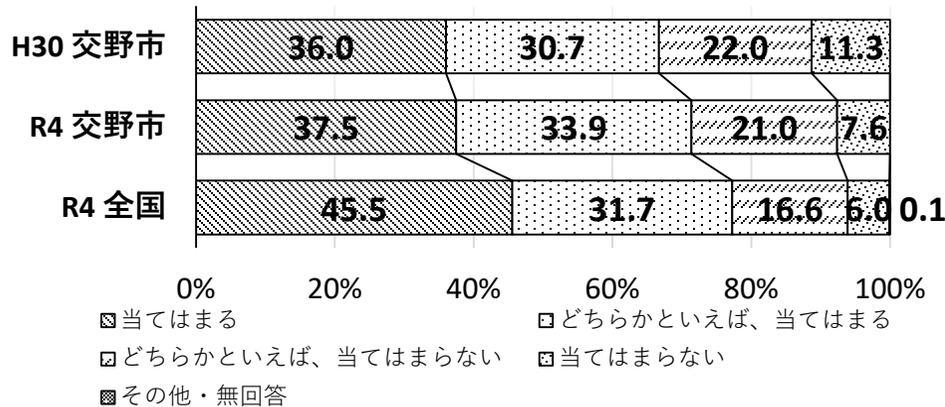


中学校

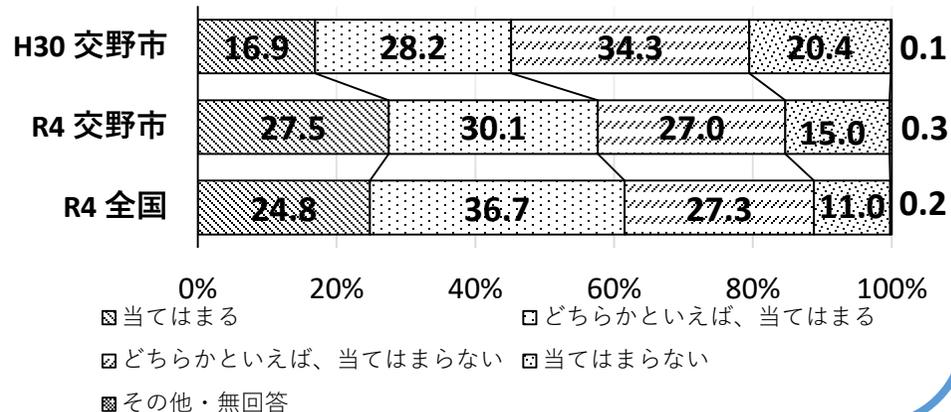


【児童生徒質問紙】理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

小学校



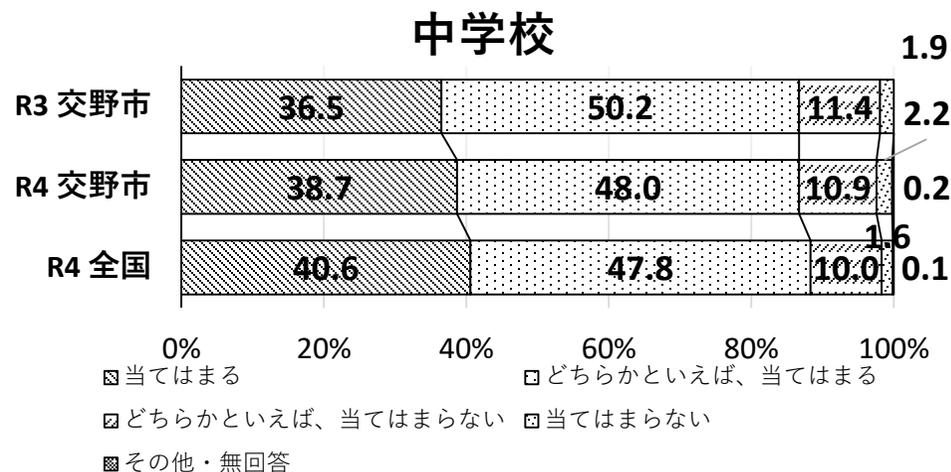
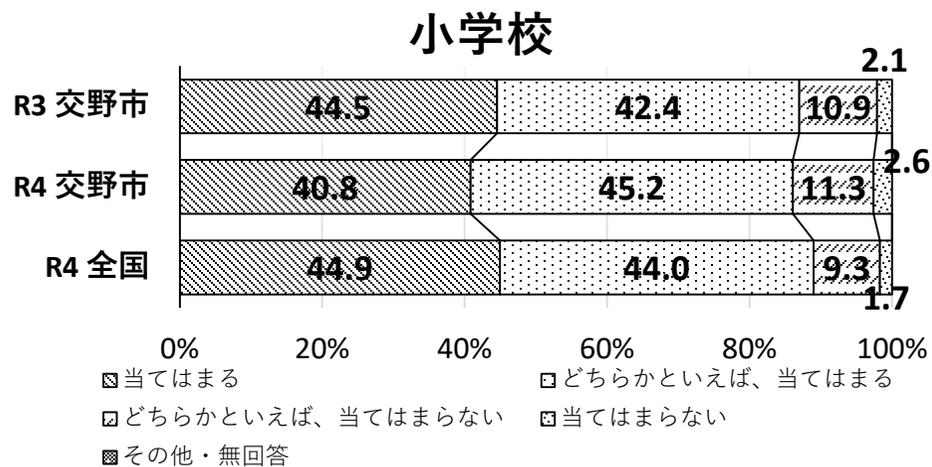
中学校



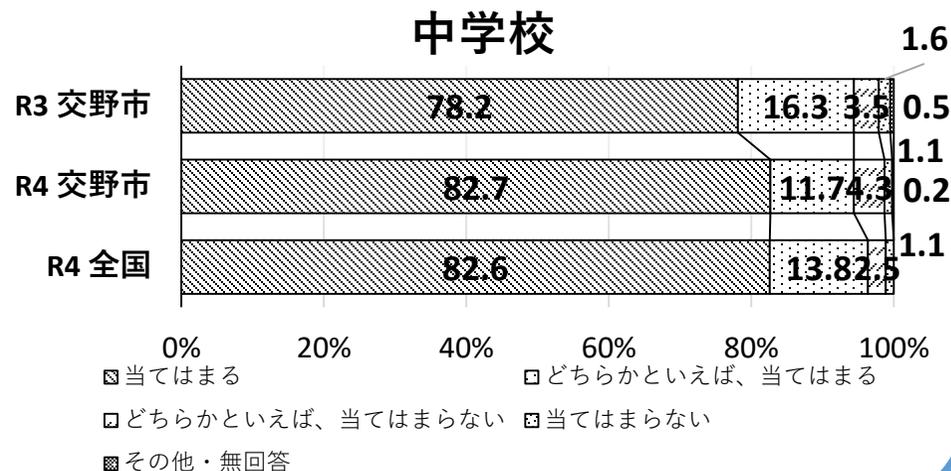
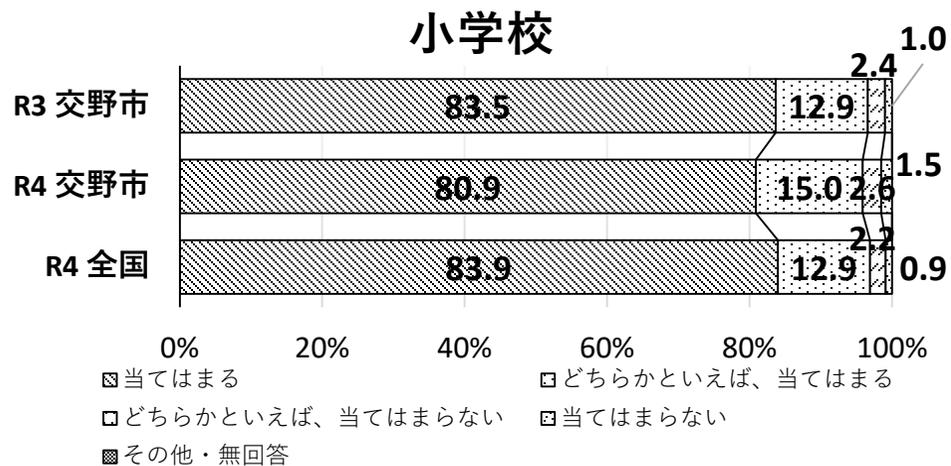
質問紙調査結果

規範意識

【児童生徒質問紙】人が困っているときは、進んで助けている。



【児童生徒質問紙】いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

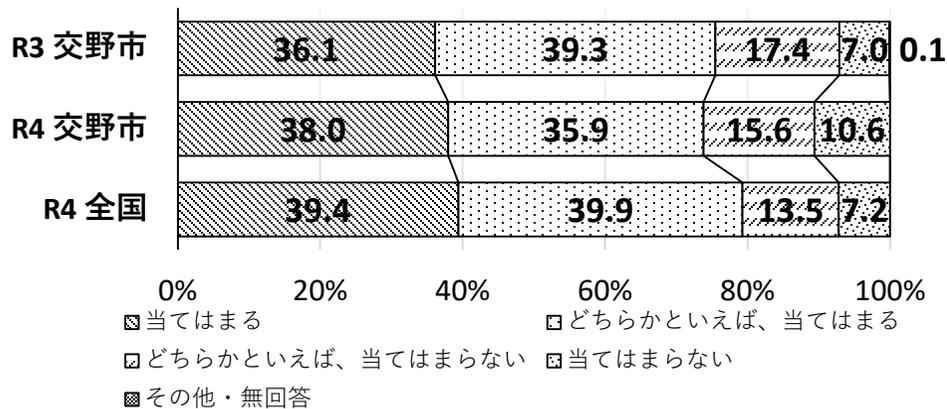


質問紙調査結果

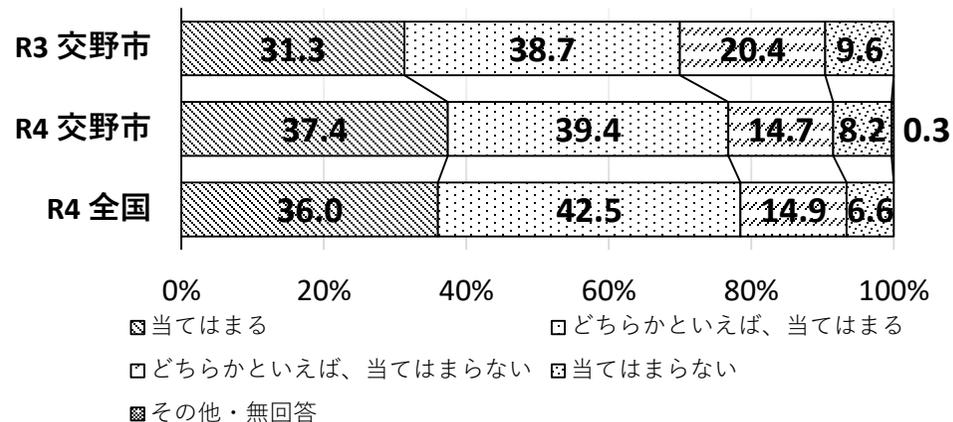
自尊感情・自己肯定感

【児童生徒質問紙】自分には、よいところがあると思いますか。

小学校

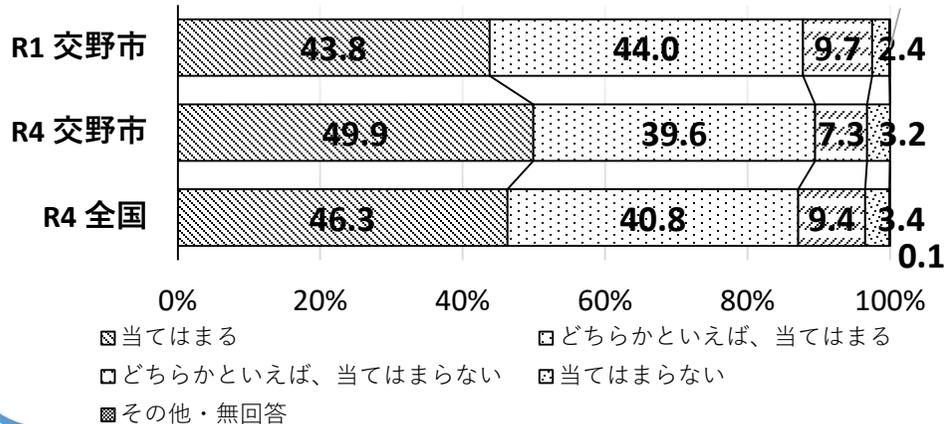


中学校

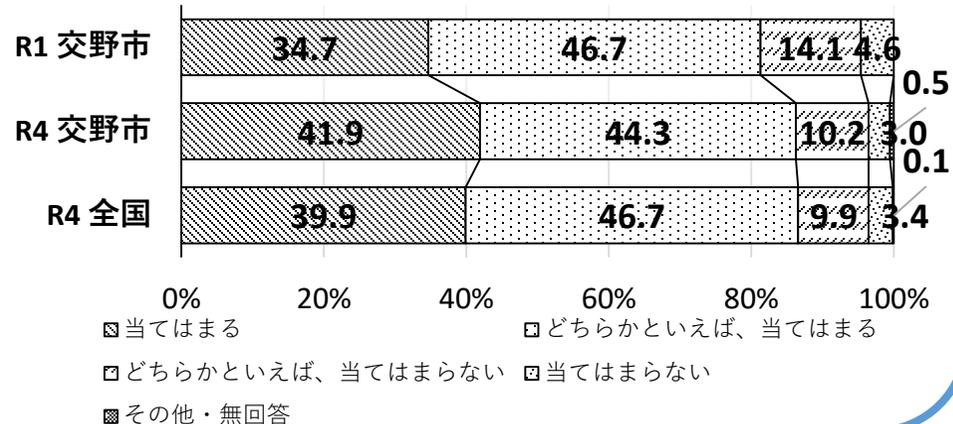


【児童生徒質問紙】先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。(再掲)

小学校



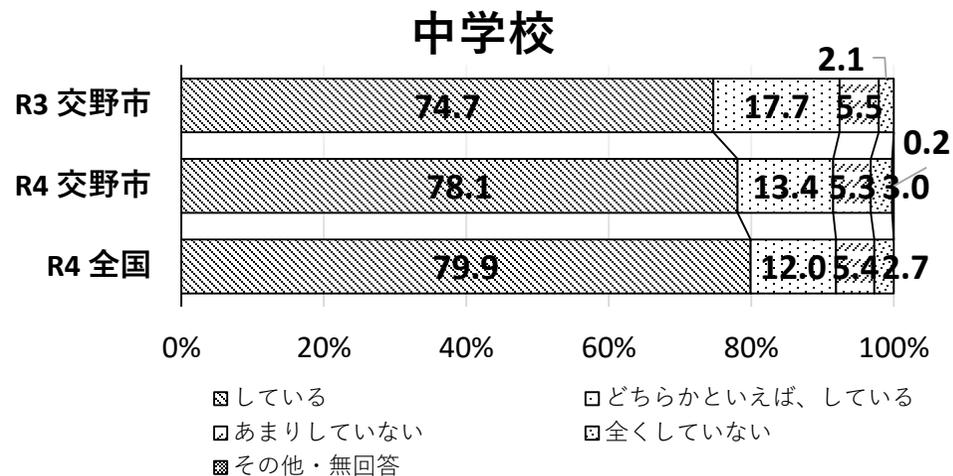
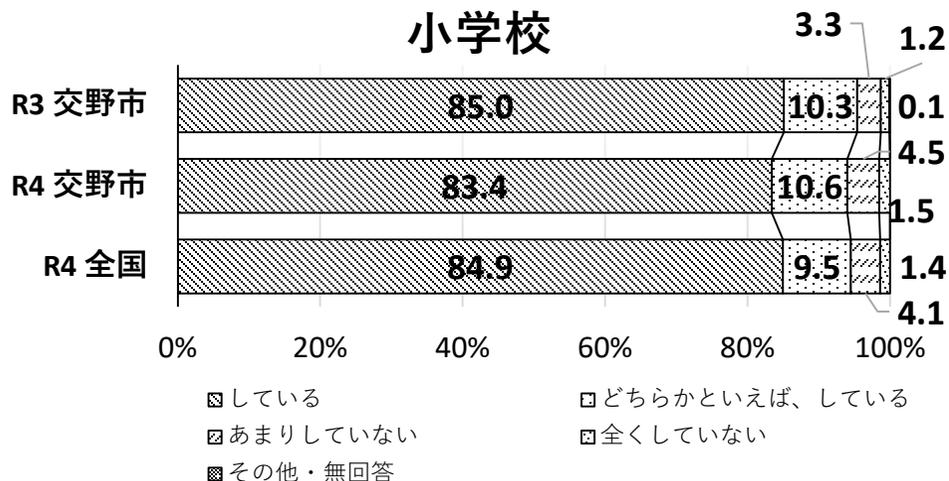
中学校



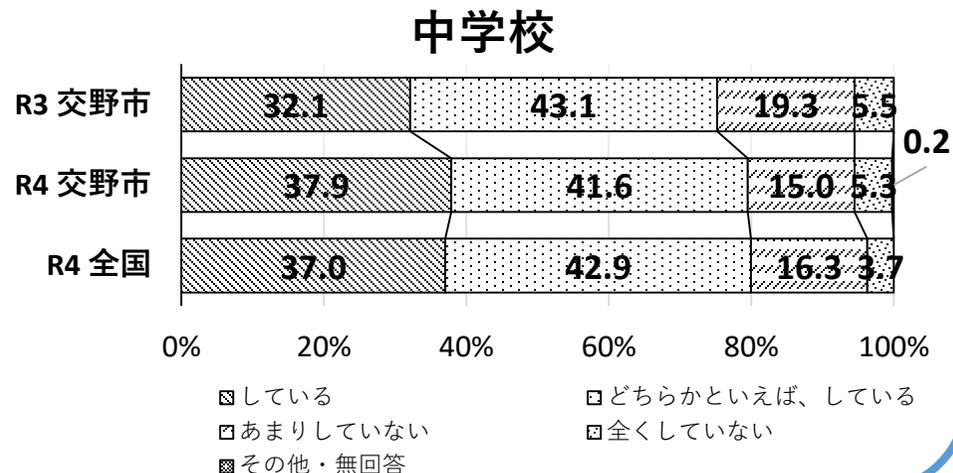
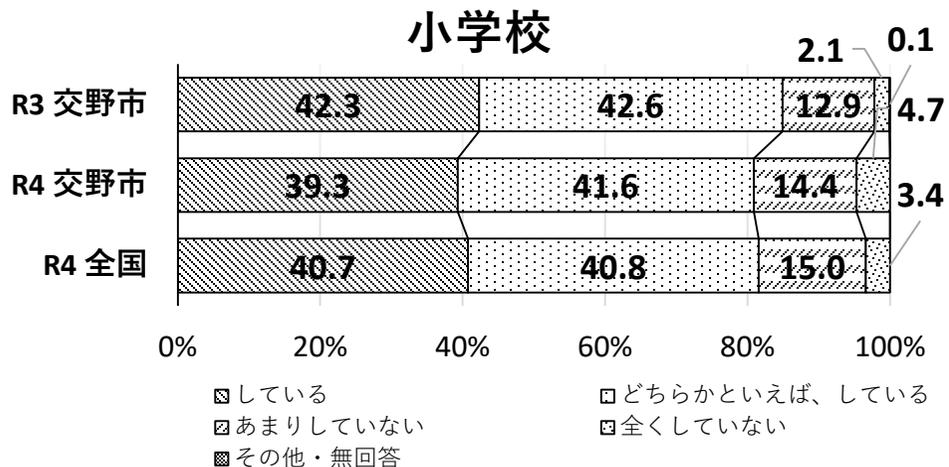
質問紙調査結果

基本的な生活習慣

【児童生徒質問紙】朝食を毎日食べている。



【児童生徒質問紙】毎日、同じくらいの時刻に寝ている。

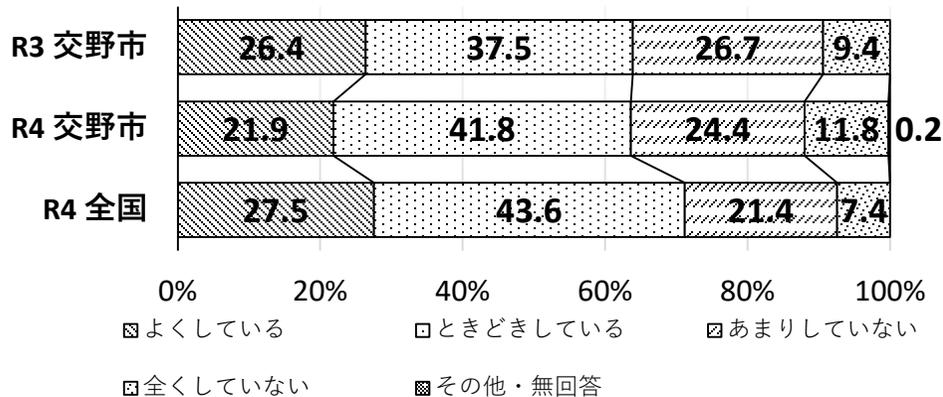


質問紙調査結果

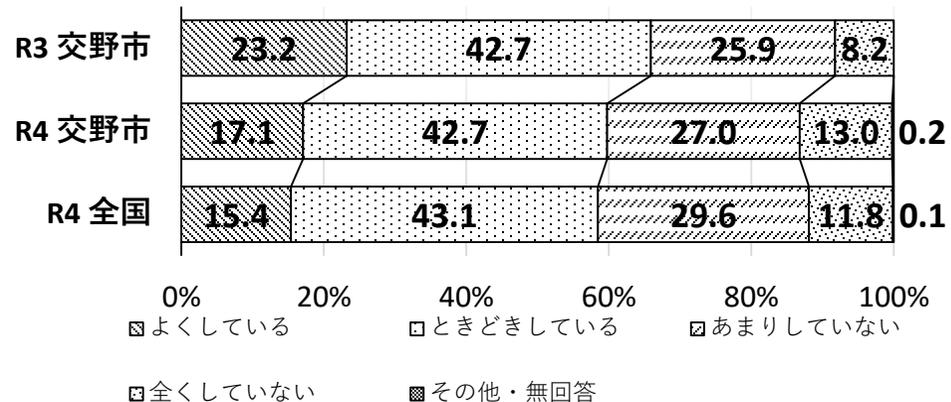
学習習慣

【児童生徒質問紙】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）。

小学校

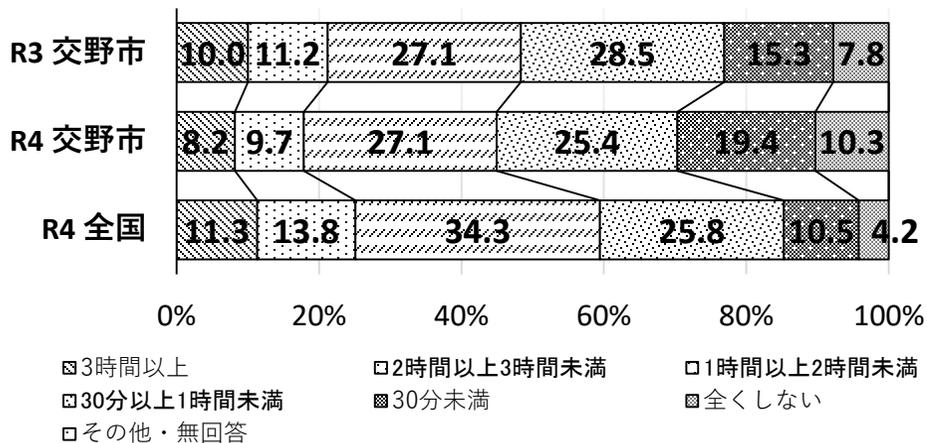


中学校

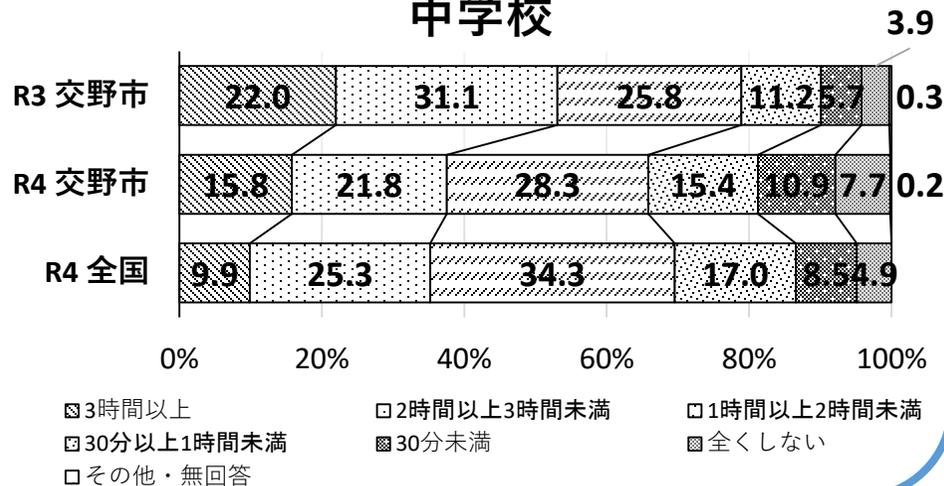


【児童生徒質問紙】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）。

小学校



中学校

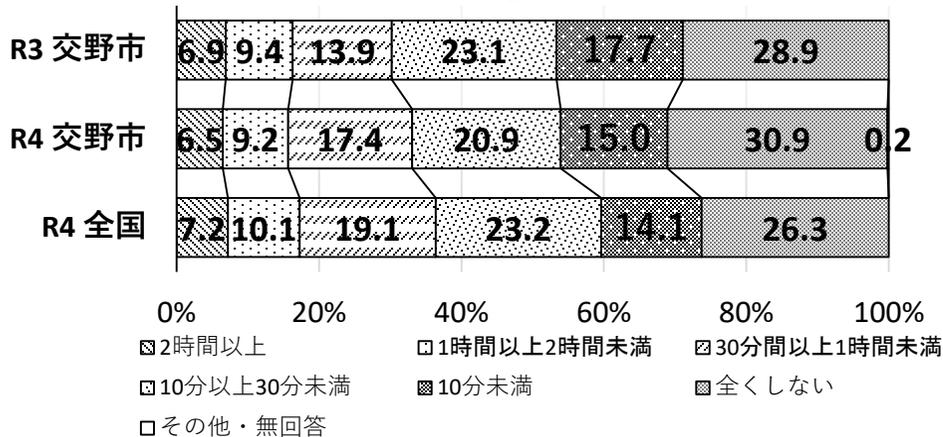


質問紙調査結果

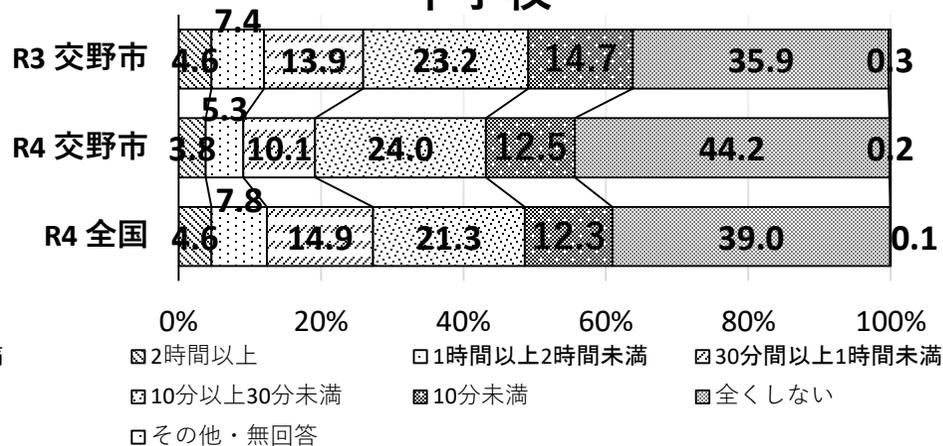
読書の状況

【児童生徒質問紙】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）。

小学校

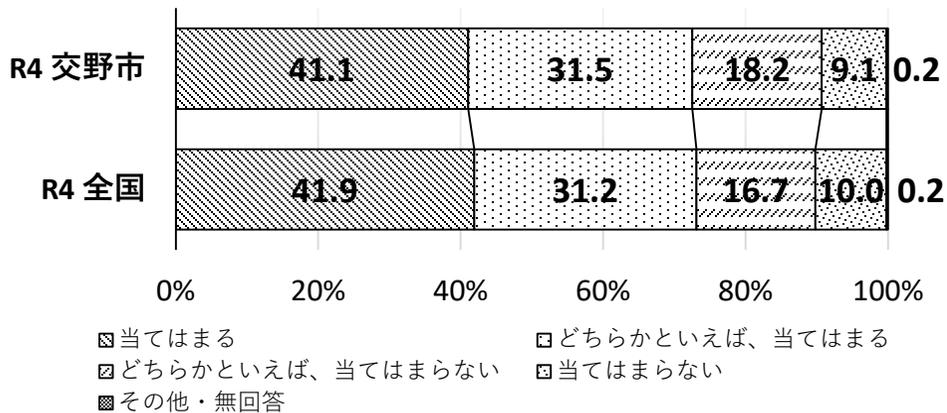


中学校

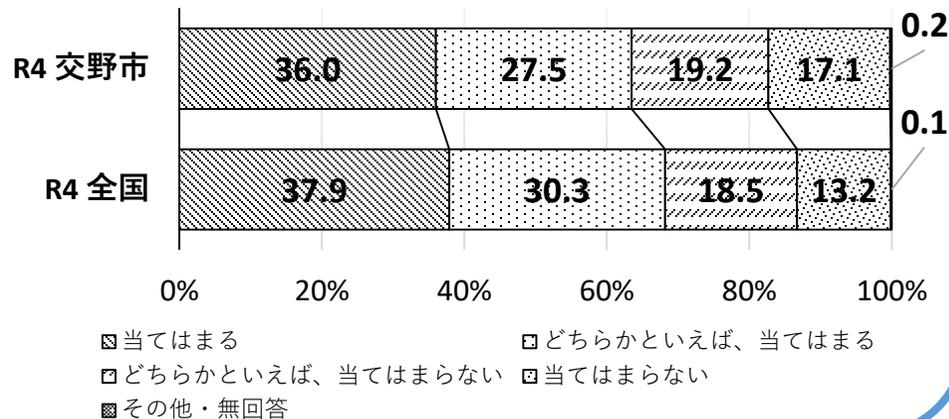


【児童生徒質問紙】読書は好きですか。（新規）

小学校



中学校

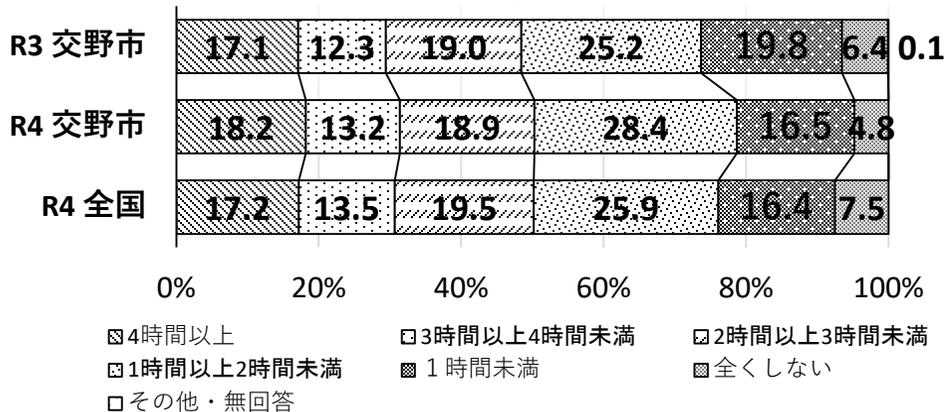


質問紙調査結果

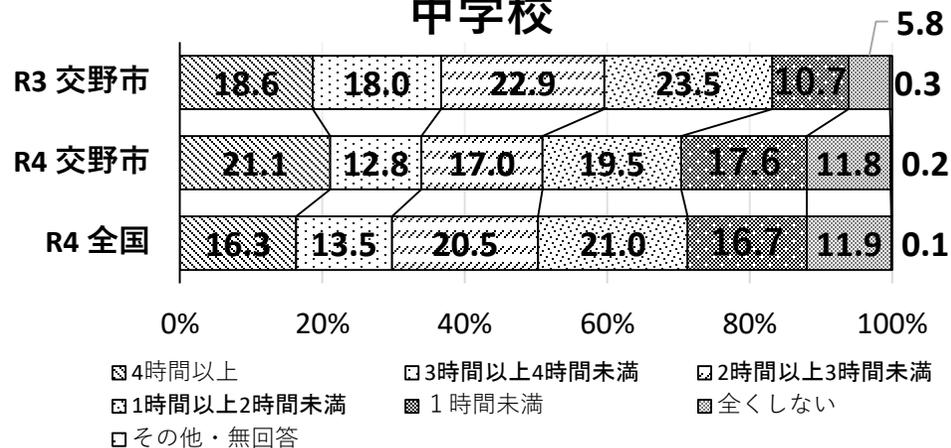
ゲームやSNS・動画視聴の状況

【児童生徒質問紙】普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。）をしますか。

小学校

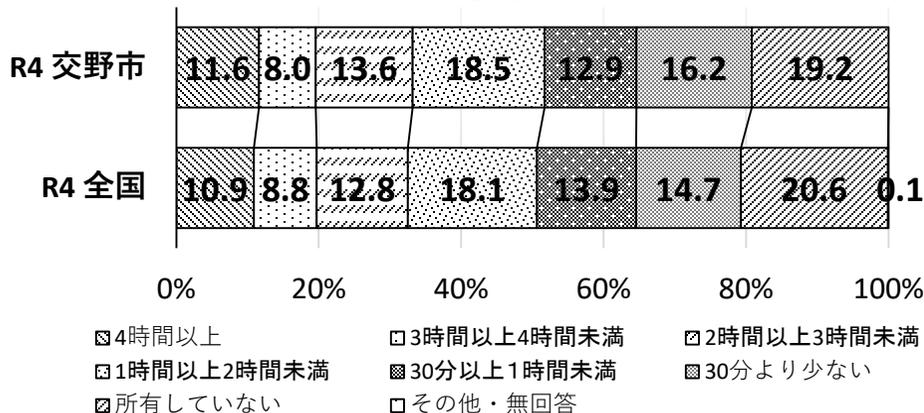


中学校

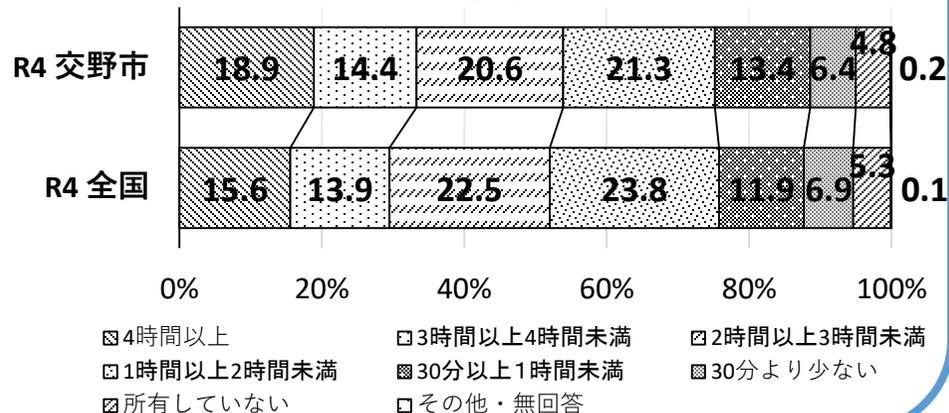


【児童生徒質問紙】普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除きます）。（新規）

小学校



中学校



改善のための方策

◆交野市教育委員会として、『交野市学校教育ビジョン』に掲げている4つの施策の柱「情（こころ）の教育を育む学校」「確かな学びが実感できる学校」「組織力の向上と開かれた学校」「学校・家庭・地域の連携と安全な学校」をめざし、以下の取組みを推進します。

1. 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む子どもたちを育成するため、市の事業である「小・中学校学力充実支援事業」において、探究型授業に先進的に取り組んでいる地域への教員視察を実施します。
- 「学力向上モデル校」を指定し、モデル校の授業公開や授業研究への参加、効果のあった取組み等の発信を支援し、全市立小・中学校で好事例を共有します。
- タブレット端末の先進的な活用方法を研究、実践している教員ら（ICTコアメンバー）を活用し、新たな学びの方法を発信、提案することで、授業の充実を図ります。

2. 言語活用力の向上

- 国語科を中心とする全ての教科において、判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する等の力を身に着けるために適した言語活動を設定し、定着を図ります。
- 学校図書館の、読書・学習・情報センターとしての機能を充実させるため、全校に配置した「学びあいサポーター」を活用し、読書の楽しさや本のすばらしさ、本やタブレット等を適切に選んで調べ学ぶことの大切さ等について伝え、児童・生徒の読書活動及び学校図書館を活用した授業づくりの充実を図ります。

3. 児童・生徒の豊かな心を育む取組みの推進

- 道徳教育の充実等により、児童・生徒の規範意識の醸成を図るとともに、自己肯定感の育成のため、地域と学校の連携・協働により子どもたちの多様な体験・交流活動の充実を図ります。
- ネット利用について考え、生活を見直すなど、児童会・生徒会を中心とした主体的な活動の推進と家庭への啓発を図ります。
- 各学園（中学校区）で共有している「家庭学習の手引き」を活用したり、教育課程の実施にあたり地域の人的・物的資源を活用したりするなど、家庭や地域の方々の協力を得た学習活動の推進を図り、子どもが自らを高めようとする意欲や態度を醸成します。

